

No. 34 >>> Contents

●年頭所感

「絹需要増進の年」にしよう・・・財団法人大日本蚕糸会 会頭 高木 賢 ————— ①

●提携支援センターから

第9回東京シルク展を終えて・・・東京シルクの会 代表 内海 康治 ————— ②

中古養蚕資材のリサイクル供給体制整備の取り組み
..... 養蚕資材供給組合 狩野 寿作 ————— ⑧

農林水産祭「実りのフェスティバル」に参加・・・財団法人大日本蚕糸会 ————— ⑪

平成25年度第4次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ————— ⑭

提携支援センター活動日誌 ————— ⑰

●蚕糸絹情報

丹後ちりめんの伝統と技に「今」をプラスする若手チームの活動
..... 柴田織物 代表 柴田 祐史 ————— ⑱

●蚕糸絹トピックス

製糸工場を併設する新しい岡谷蚕糸博物館の誕生
..... 市立岡谷蚕糸博物館 館長 高林 千幸 ————— ㉔

●海外情報

「2013年中国国際シルクフォーラム」に出席して
財団法人大日本蚕糸会 副会頭 久保 脩 ————— ㉔

●国内情報

シルク遺産を訪ねて⑬ 前橋市蚕糸記念館
..... 東京産業考古学会 副会長 平井 東幸 ————— ㉓

●イベント情報 ————— ㉓

●純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 ————— ㉓

●蚕糸絹関係博物館一覧 ————— ㉓

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧 ————— ㉓

●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。） ————— ㉓

「絹需要増進の年」にしよう



財団法人 大日本蚕糸会
会 頭 高 木 賢

新年おめでとうございます。

長い間低迷していた日本経済も、何とか上向きになるかという期待を持たせるところまで来たようです。各種の経済指標も好転し、賃金もやや増えるという形勢になりました。個々に事情は異なりますが、全体的に言えば、久々に前年より懐具合が暖くなる見込みの年になるでしょう。

いよいよ、絹需要増進のために攻勢をかけるべき時が来たのです。幸い、追い風も吹いてきています。

第1は、富岡製糸場と絹遺産群の世界遺産登録が目前に迫ってきたことです。

順当に進めば、5月には、イコモスの勧告が発表され、6月には、カタールで開かれるユネスコ世界遺産委員会で世界遺産の登録が決定されることになります。過去2年間に富岡製糸場を訪れた人の数は、約60万人に及びます。世界遺産登録となれば、1年でこの数を上回ることになるのは確実です。大勢の人に日本の絹をアピールする絶好の機会になるのです。この機会を逃すことなく、ぜひとも多くの国民の皆さんに、「日本の絹に対する再認識・再評価」をしていただくべく、絹関係者は工夫し、活動しなければなりません。

第2は、絹需要増進を進める側の動きが年初から活発化していることです。新年早々から、新宿伊勢丹、横浜高島屋で、相次いで「純国産宝絹展」が開催されます。しっかりと日本の絹をPRすることで、着実に絹需要増進につなげていくことが期待されます。

第3に、製糸の街岡谷市の蚕糸博物館が、8月に、リニューアルオープンすることです。リニューアルと言っても既存の施設を改造したのではなく、全くの新築の建物でのオープンで、設計書から想像すれば、斬新なデザインの楽しい博物館になるものと思われます。しかも、画期的なのは、その中に宮坂製糸が移転し、操業することになっていることです。宮坂製糸は、いわば「動態展示」の役割を果たすことになります。

各蚕糸絹業提携グループ、各企業とも、苦難に遭遇してきたことと思いますが、土着の養蚕・製糸と染・織の伝統産業を基礎においている提携グループは、逃げだすわけにはいかず、歯を食いしばって頑張ってきたことと存じます。

しかし、風向きは変わってきました。今年こそ、我慢の中で屈してきたヒザを大きく伸ばす方向に転換して行こうではありませんか。

「絹需要増進の年」、これが今年の合言葉です。

第9回東京シルク展を終えて

東京シルクの会

代表 内海 康治

当会の母体である「多摩シルクライフ21研究会」(以下「多摩シルク」)の主催で2年ごとに開催されている「第9回東京シルク展」が、多摩シルクの活動原点である東京農工大の科学博物館を会場として例年になく大きな規模で行われた。多摩シルクは東京の繭から生まれた絹づくりをモッ

トーに蚕糸絹づくり技術、地域文化の伝承を行い、もって東京の蚕糸・絹文化の発展に寄与することを目的として東京農工大を活動拠点として平成7年に設立された。多摩近隣の養蚕農家をはじめ、製糸、精練、撚糸、染織、各種加工、研究、流通などに関わる会員によって構成されている団体で蚕糸絹業に関わる大学、試験研究機関と常に連携しながら蚕品種の改良に取り組み、研究成果発表の場として「東京シルク展」を開催している。以下に今年開催した第9回東京シルク展の催しの概要を紹介する。

・開催場所と開催日

昨年リニューアルオープンした東京の西部、小金井市の東京農工大学科学博物館の一部を借りて、同博物館と共催、財団法人大日本蚕糸会とはシンポジウムでの共催、後援に小金井市・小金井市教育委員会を頂いて、平成25年10月25日から27日までの3日間にわたって開催し、延べ1,000余名の見学者があった。

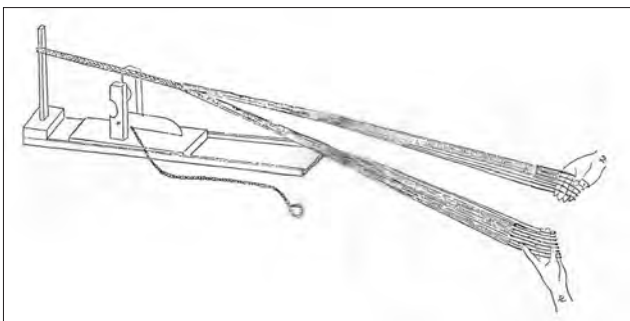
・展示及び実演



(展示コーナーにて)

1 純国産絹作品の展示

会場の白い壁と広さを生かして、「風にそよぐ絹」をモチーフに、ストール、タペストリー等を、天井から吊しそれらに合わせて着物や帯、和装小物を展示したがこのような展示の仕方が作品がかもし出す絹の香りを会場いっぱいに漂わせていた。展示製品には会員の作製による古典織物の錦、月明織、しじら織、紬、緋、佐賀錦、手描友禅、つづれ、黒八丈、籠打組等、数々の伝統織物に加えて、この度はクテ打技法、三打のブレーダーによる稀有な伝統組紐も展示してより充実した展示会とすることができた。



(クテ打ち技法・・・高台や丸台が使われる以前に使われた組み方。綾とりのように左右の手だけで組みます。)

2 実演

実演の内容は、糸を繰る、つむぐ、真綿づくり、真綿ふとんづくりに加えて、この度は甲冑師である会員のご主人が実演に参加して普段見ることができない「クテ打技法によって古代甲冑の組紐」を組んだり、「三打のブレーダー」を動かして極細の組紐づくりを間近で見ることができた。

更には会員自ら手描友禅や佐賀錦等の一連の作業工程を解説したり、籠打技法組紐づくりや、草木染した素材を用いたブローチづくり、ストラップづくり、コースターづくりなど、手の込んだ作業を分かりやすく体験するワークショップを開催した。こ



(会場風景)



(ワークショップ風景)

の実演を通じて、特に感じたことは「つくる楽しさ」を絹を使う側の人たちに十分知って頂くこと、また興味を持った人には自らつくる事を体験させ「絹の良さを肌で感じてもらう」ことである。どんどん絹糸や真綿を使ってその楽しさを多くの人に体験させることが大切である。

3 特別展示

本年は伊勢神宮の遷宮の年にあたり、多摩シルクでは前回に続いてこの度の第62回神宮式年遷宮でも奉製に関わらせていただいた。今回は特殊品種の「青熟交配種」の生糸をもって奉製した御料帛を献納致した。これを用いて作製されたのが「青纈纈綿御衣」(あおのこうけちわたのみぞ)という御装束で、式年遷宮に合わせて新調された御装束神宝の総数1,576点中65種の御装束の内、唯一染めをもって仕上げられたものである。それを記念して神宮司庁と神宮式年造営廳で作られた御装束神宝に関わる貴重なビデオを、幸い入手出来、期間中会場内で放映することができた。思いのほか関心が強く、大好評であった。

・シンポジウム

今回の特別企画として、シンポジウム「蚕糸絹文化の再生と展望」をテーマに当会(東京シルクの会)と多摩シルク・財団法人大日本蚕糸会の共催で、下記の通り行なわれた。当日は雨天にもかかわらず120余名の参加者を数え大盛況であった。

日 時 平成25年10月26日(土)
午後0時45分より午後4時30分
会 場 東京農工大学科学博物館3階講堂
開会のご挨拶
多摩シルクライフ21研究会
代表 小此木エツ子氏
座長 古典織物の復元研究家
中島 洋一氏

基調講演 「和文化の再生と展望」

米国メトロポリタン美術館名誉会員
梶谷 宣子氏

パネラー講演

「蚕品種の現状と将来展望」

財団法人 大日本蚕糸会蚕業技術研究所

前所長 井上 元氏

「特殊品種の蚕を飼う」

養蚕家 小谷田昌弘氏

「八王子の養蚕」

養蚕家 長田 誠一氏

「八丁式張り撚りと黒八丈染について」

撚糸業 森 博氏

「八王子みさゝ手織工房と共に40年」

染織家 森久保雅子氏

「耐放射線素材で織る 仕上げは蚕」

染織家 矢村 璋子氏

「絹製品の新しい流通」

東京シルクの会代表

呉服商 内海 康治氏

その後「総合討論」

テーマが「蚕糸・絹文化の再生と展望」という大きなものであった為、はじめはどうなるかと心配したが予想に反して、素晴

らしい有意義なシンポジウムとなった。座長をはじめパネラー各氏の皆様方、関係者各位に心より感謝申し上げたい。基調講演の前に座長の中島洋一氏より、「絹の再生と展望」についての解説があり現況と展望についての指針を示していただいた。

今回のシンポジウムでは基調講演を、今まであまり取り上げて来なかった「古代から現代までの絹」をテーマとし、米国メトロポリタン美術館名誉会員の梶谷宣子氏にお願いした。「絹」というとかつては江戸中期以降の絹について語られることが多かったものが、氏から「古代からの絹」に関して、絹が何の為にどのようにしてつくられたかを平易に解説され、毎日目先の事ばかりに追われているものにとって、ハッとさせられる新しい知見が随所に現れ意義深く胸を打つものがあった。

また日毎蚕種の生産現場で、研鑽の日々を送って来られた蚕業技術研究所前所長の井上元先生のお話も、これからの私どもにとって価値あるお話でしたし、多摩の養蚕農家である小谷田昌弘氏、長田誠一氏、撚糸業の森博氏、染織家の森久保雅子氏、染織家の矢村璋子氏、各氏の絹づくりに対する前向きな姿勢と絹に対する熱き情熱と夢をもっておられる事に来場者からも実体験にもとづいて臨場感があってよかったと好評であった。不肖、内海も発表する機会を与えられ、短い時間で緊張しつつ日頃の活動やその問題点を述べさせていただいた。

・絹の音コンサート



(開始前にはすでに満員に)



(基調講演をお願いした梶谷先生(中央)と井上先生(右))



日本の弦楽器には純国産絹糸が使われていることをどれほどの日本人がご存じだろ



(演奏する方も聴く方も熟年世代が多く、何やらゆったりとした空気が流れます)

うか。今回若い方に絹に興味を持ってもらう方法としてアコースティックギターによるコンサートを企画した。演奏は以前から多摩地域で演奏活動を行っている音楽グループの「ミュージックシルクロード」に依頼し、蚕糸・絹業提携グループで存じ上げている京都の邦楽器糸製造業の鳥羽屋の社長にご協力戴きギターにふさわしい純国産絹絃を特別に作製していただいた。当日は80余名の参加があるなか、絹の音にふさわしく和やかに、楽しいコンサートとなった。演奏は今秋出雲大社で演奏したG 2 us (ジーニアス マサ大塚& 高谷秀司) と元シューベルツ .COM (おちゆうじ& PAPAS 源太) のプロの方をお願いし、予想以上に聞き応えのある演奏に拍手喝采続出で最終日を大いに盛り上げてくれた。絹と音楽、絹に関わる人たちがこういう形で協力して大切に守っていくのも日本の文化ではないだろうか。

・養蚕写真展

写真家である本条武志氏が、多摩（八王子市堀之内）で養蚕農家を営む小谷田昌弘氏の養蚕の風景を長年にわたり撮影し、この度初めて東京シルク展で披露した。小谷田氏が特に力を入れて育てている特殊品種「青熟交配種」を飼育する一連の記録で、八王子市の郷土史にも記録として紹介されており、飼育期間中の養蚕農家の活動の様子を克明に捉えているので、養蚕を知りたい人たちにとっては、分かりやすく非常に見応えのある価値ある貴重な写真であった。写真の前に立ち止まって一枚一枚丁寧に見とれている来場者の姿が印象に残った。

・科学博物館館内見学ツアー

東京農工大の学生団体「musset」のボランティアによる企画で、期間中1時間に一回程度、10名くらいを目安に来場者に館内を案内してもらった。近隣地域の方にも

科学博物館にはじめて入って、その規模・設備やその歴史に触れて感動したといった感想を聞いた。博物館からもたいへん参加者が多くて学生も張り合いがあって楽しかったとのこと。若い年代にこの素晴らしい施設をもっと紹介して日本の繊維工業、特に絹産業についても学んで欲しいものだ。

・これからの絹づくり

今「蚕糸絹業」産業と絹文化は崖っぷちに立たされている。高齢化が進み、後継者が不在。昼がなく、床の間もない洋風生活。私の仕事であるきもの産業だけを見ても、99%以上が中国などの外国産の絹に頼り、着物の縫製は8割がベトナムで行われ、振袖などの友禅加工はインクジェットを使っ

てコンピュータで作られている。「手作り」が日本の伝統的な和文化だとすれば、それを支えるためには手間のかかった商品を高価格を覚悟で買ってもらわねばならない。またそれを理解できるだけの見識を備えていなければ、その価値がわからない。

絹と共に、それを生み出す自然と風土を、作り手を、その伝統と一緒に伝えていかねばならない、その優れた感性や時代性、美しいものを見抜く鑑識眼を持ったあとに続くものを育てていかねばならない。心豊かに、この日本の美しさと古来からの伝統の素晴らしさに誇りと自信を持って、私たちはこれからも、純国産絹づくりを続けていきたいと思う次第である。



(写真展は会場外側の廊下を使って行われた。約 50 枚位のシックな手焼きの銀塩写真が並ぶ)

中古養蚕資材のリサイクル供給体制整備の取り組み

養蚕資材供給組合

狩野 寿作

1 養蚕用資材の現状

自動収繭毛羽取機など養蚕用資材が製造・供給されなくなって10年以上が経った。

不足している養蚕資材としては、自動収繭毛羽取機のほか回転簇、自動条払い器、尿受け器等である。

群馬県における養蚕資材不足に対するこれまでの取り組みとしては、農協の蚕業技術員が休止養蚕農家の遊休養蚕資材を希望者に斡旋したり、群馬県蚕糸技術センターがHP上で繭毛羽取機、条桑刈取機、飼育台などの譲渡希望、購入希望の募集や調整を行ってきた。

しかし、農家からは、①毛羽取機の調子が悪い、修理できないか。②今の毛羽取機もいつ壊れるかわからない。これが壊れば養蚕も終わりだ。③回転簇が傷んで困っている。などの声が、毎年多くの農家から上がっていた。

つまり、自動収繭毛羽取機についていえば、リサイクル供給体制を構築すること、機械のメンテナンス体制を整えることが求められていた。

2 養蚕資材供給組合の設立

蚕糸・絹業提携グループは、国産繭・生

糸の希少性を活かした高品質な純国産絹製品づくりに取り組んでいるが、養蚕専用資材（自動収繭毛羽取機や回転簇など）がなければ高品質繭生産はおろか養蚕を維持出来ない。そんな思いを持つ人たちにより、養蚕資材のリサイクル供給体制を整備すべく「養蚕資材供給組合」が平成25年5月に設立された。

組合の構成員は次のとおり

高村育也（碓氷製糸農業協同組合）

伊藤郁男（㈲東亜エンジニアリング）

狩野寿作（元群馬県蚕糸園芸課）

澤田好美（碓氷製糸農業協同組合）

真下寿弘（全農群馬県本部）

原沢 俊（ハラックス株式会社）

大森春彦（株式会社オーモリ）

農家の皆さまへ

使っていない「自動収繭毛羽取機」はありますか？
「自動収繭毛羽取機」の調子が悪く、困っている農家があります。
提供いただいた「自動収繭毛羽取機」を修理し、希望する農家に供給し、優良繭生産に役立てます。
お持ちの方は、JA等に御連絡下さい。

今、修理して使用可能な自動収繭毛羽取機を探しております。皆様の農機庫で使っていないもの（修理したら使えそうなもの）を収集して、修理後、群馬県をはじめ全国の養蚕農家の方々に使用していただきます。ぜひ、ご協力お願いいたします。

なお、自動収繭毛羽取機の収集の際は、中古機種の保存状況を判断して若干の買取金をお支払いすることとさせていただきます。

【問合せ先】
各JA／JA全農ぐんま ☎ 027-220-2251／東亜エンジニアリング ☎ 0279-23-9063
碓氷製糸農協 ☎ 027-393-1101／財団法人大日本蚕糸会 ☎ 03-3214-3500

収集する自動収繭毛羽取機は、40台程度を予定しております。これを超えた場合は、収集を終了することもあります。御承知下さい。



3 養蚕資材供給組合の活動

養蚕資材供給組合は、大日本蚕糸会からの業務委託を受け、自動収繭毛羽取機（マユクリン）の収集・整備及び繭毛羽取機のゴムベルトの試作に取り組んでいる。

（１）広報宣伝

遊休マユクリン 40 台を回収すべく、25 年 4 月群馬県の養蚕担当者会議において事業の趣旨説明を行うと共に、5 月には中休止養蚕農家向けパンフの作成・配布を行った。

各種の対策を講じたにもかかわらず、7 月の養蚕担当者会議におけるマユクリンの譲渡希望台数の集約結果はなんと 20 台。予定の半分だった。

このままでは、自動収繭毛羽取機の安定供給体制を構築できないとの不安から、上毛新聞社の協力を得て記事として掲載してもらった。



（※平成 25 年 7 月 23 日 上毛新聞）

その結果、マユクリンの譲渡希望台数は 55 台となり、その他の養蚕資材についての譲渡希望も数多く寄せられた。

上毛新聞には本当に感謝している。

（２）マユクリンの収集

譲渡希望のあったマユクリンは、7 月から 9 月にかけて、延べ 9 日間で 55 台を収集した。新品に近いものから部品取用マユクリンまで機械の程度は様々であった。

マユクリン収集のため農家の蚕室へ入ると、マユクリンのほかにも回転簇、条払い機、簇の毛羽取機などが丁寧に保管されていた。

農家は、「俺んちはもう蚕は飼えねえから、誰かに使ってもらえればありがたいねー」と言っていた。

毛羽取り機や回転簇など、ほとんどの養蚕資材が生産されていない状況だが、農家の蚕室には、多くの養蚕資材が眠っている。

現役養蚕農家の希望に応じて、養蚕資材の掘り起こしや斡旋も養蚕資材供給組合の大切な仕事と考えている。

（３）マユクリンの整備

組合では、収集した 55 台のマユクリンから、マユクリン 27 台を再生すべく、整備業務を東亜エンジニアリングに委託している。

整備の主な内容は、毛ブラシ 2 本を新品に交換、ギヤ、軸など傷んでいる部品を交換、分解掃除などで、26 年 1 月末までには、完成予定である。

（４）ゴムベルトの試作

繭毛羽取機には、マユクリンのような毛ブラシ方式の他に、ゴムベルト方式がある。農家からは、「ゴムベルトが減って毛

羽がよく取れない。」との声が多い。そこで、このゴムベルトについてもメーカーに生産を委託し、26年1月末までには70枚が完成予定である。

対応機種例としては次のとおり。

メーカー	機種	ゴムベルト
大森式	まゆこん系	口径5吋
大森式	全自動毛羽取機	5吋
大森式	ストール第1	3 1/4 吋
北沢式	収繭自動毛羽取機 一連型、新二連型	5 吋
北沢式	収繭自動毛羽取機 旧二連型	4 1/2 吋
側島式	毛羽取機新 W 型	5 吋
越南式	平和号ボール掃除機	4 1/2 吋

※この他の対応機種については、愛媛蚕種(株)までお問い合わせください。

4 供給体制について

完全整備済みマユクリン 27 台、ゴムベルト 70 枚については、平成 26 年 1 月末までに整備し、平成 26 年 4 月以降供給できる体制を整備すべく準備を進めている。

供給するマユクリンの価格は、約 6 万円を予定（販売者倉庫渡しの場合）。

販売数量を把握したいので、購入希望者は平成 26 年 1 月末までに下記までご連絡をお願いします。

東亜エンジニアリング：☎ 0279-23-9063

また、繭毛羽取機のゴムベルトについては、愛媛蚕種株式会社（☎ 0894-36-1028）までお願いします。

5 事業の成果と今後の課題

大日本蚕糸会の業務委託による「中古養



蚕資材のリサイクル供給支援事業」に取り組んだ成果は、次のとおりである。

- （1）自動収繭毛羽取機（マユクリン）の再生により、新規養蚕農家や購入希望農家の要望に対応できる。
- （2）養蚕資材供給組合の構成員である東亜エンジニアリング伊藤郁男氏の協力により、今後、毛ブラシの交換、オーバーホール、ギヤや軸など調子の悪い部品の交換などマユクリンの修理が可能となる。
- （3）繭毛羽取機用ゴムベルトの生産により部品交換が可能となり、優良繭の生産に寄与できる。
- （4）中休止養蚕農家には、自動収繭毛羽取機以外にも各種の養蚕専用資材が数多く眠っていることが判明。養蚕業の持続的発展のためには、これらの有効活用が今後の課題である。

なお、養蚕資材の供給は、自動収繭毛羽取機（マユクリン）とゴムベルトに限らせていただきます。

本事業の推進については、養蚕農家を始め、関係者のご支援をお願いいたします。

農林水産祭「実りのフェスティバル」に参加

財団法人 大日本蚕糸会

財団法人 大日本蚕糸会ジャパンシルクセンターは、平成 25 年 11 月 8 日（金）～9 日（土）の 2 日間、明治公園で開催された公益財団法人日本農林漁業振興会主催の平成 25 年度（第 52 回）農林水産祭実りのフェスティバルに参加出展しました。

今回は、純国産絹製品を普及するために純国産絹マークの紹介を行い、また、世界遺産に推薦書（正式版）がユネスコに提出され世界遺産認定に向けての活動がなされている「富岡製糸場と絹産業遺産群」の紹介を行いました。皆さまに日本の絹文化の素晴らしさを再認識して頂きました。

1 展示の内容

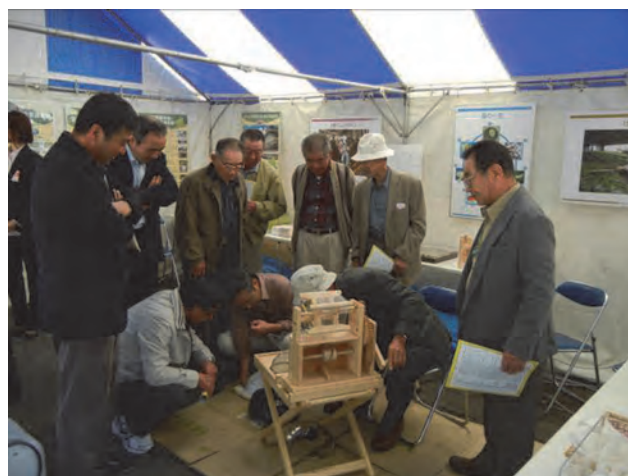
「純国産絹マーク」の説明、蚕の一生、絹の多用途利用のパネル展示、5 齢の蚕の飼育展示、座繰り繰糸の体験を行うことに加え、群馬県世界遺産推進課から「富岡製糸場と絹産業遺産群」の紹介パネル及びパンフレットの提供を受け、このパンフレットの配布と展示を行いました。併せて、富岡市から富岡製糸場内での物販を受託している株式会社絹工房に参加してもらい、富岡製糸場の紹介、絹石鹼の実演説明などを行いました。

また、本展示会及び純国産絹マークに関するアンケート調査も行いました。

2 展示会の状況

（1）座繰りの体験及びカイコの飼育展示

当ブースには 500 名余の来客があり、約 100 名の方が座繰りの体験をされました。1 粒の繭からの繭糸の細さと強さに驚く方、繭糸を引き揃えて生糸にすること、その生糸をより合わせて絹製品の原糸になることなどに質問が集中しました。カイコを家に持ち帰り繭を作らせてみようとする方がおり、繭・生糸にはみんなの関心が集まりました。



座繰り実演（1）



座繰り実演（２）



座繰り実演（３）

また、３地区のゆるキャラ（みやざき犬（宮崎県）、ぐんまちゃん（群馬県）、にいひめちゃん（三重県熊野市））が私どものブースを訪問され、座繰りの体験をにぎやかにして頂きました。

（２）富岡製糸工場と絹産業遺産群の紹介

「富岡製糸工場と絹産業遺産群」のパネルを熱心に見られる方、パンフレットをもらってもいいでしょうか？と聞かれる方、富岡製糸工場に行ってきたと言われる方、



みやざき犬（宮崎県）



ぐんまちゃん（群馬県）



にいひめちゃん（三重県熊野市）

富岡製糸工場にはどのように行けばよいでしょうか？、時間はどのくらいかかりますか？などの質問があり、歴史の探索を趣味としている方々も多いことが分かりました。明治における日本経済の発展に寄与貢献したことなどお客様に歴史談義を楽しんでもらいました。



(株) 絹工房による絹石鹼の実演説明

3 アンケート結果

アンケート調査には、62 名の方に参加して頂きました。

皆様が望まれる今後のイベントとしては、養蚕農家（47％）、製糸工場（42％）

及び富岡製糸場（42％）の各見学会となっており、生産現場を見学したいとの希望が多いことが分かりました。

純国産絹マークを知っている方は 23％で、商品のタッグ、販売呉服店の店頭、ポスター等で知ったとのことでした。このようにこのマークを知っている方が多いことは、平成 21 年から継続してこの展示会で普及展示してきたことの現れであると思われます。このマークのコンセプトである商品の生産履歴については 68％の方が興味があると答えられました。

4 まとめ

日本の蚕糸業が縮小している中、是非日本に蚕糸業の灯を消さないで残して欲しいという声が多くありました。また、「純国産絹製品」に関心を持つ方が多くみられ、「純国産絹製品」の展示はないのかとの声もあり、今後も機会あるごとに継続して「純国産絹製品」の普及宣伝に努めてまいりたいとの思いを新たにしました。

平成 25 年度第 4 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの平成 25 年度第 4 次審査会を平成 25 年 11 月 25 日(月)に開催しました。今回は、12 者から申請があり、新規申請者は 3 者（3 品目）、使用許諾されている者は 9 者（うち製品の追加 4 品目、数量の追加 11 品目）を審査委員会で審査した結果、12 者に対し、12 月 2 日（月）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)	
(新規許諾者) 株式会社パールトーン 代表者名：由本敏次 (担当者：中西憲治) 京都市右京区西院西中水町 22 Tel：075-312-1121 表示者登録番号：183	胴裏絹 (パールトーン加工)	102 枚	制作企画 繭生産 製 糸 製 織 精 練 加 工	日本蚕糸絹業開発（協） 群馬県内養蚕農家 碓氷製糸農協 (有) 長島織物 (有) 江島屋染工場 自社
(新規許諾者) きもの専科まさ井 代表者名：正井恵子 (担当者：正井恵子) 兵庫県三木市志染町中自由が丘 2-348 Tel：0794-85-7611 表示者登録番号：184	後染反物（小紋）	5 反	制作企画 繭生産 製 糸 製 織 染 色	田中種（株） JA にったみどり管内養蚕農家 碓氷製糸農協 南久ちりめん（株） 高田勝（株）
(新規許諾者) マテリアル ロープ 磨 代表者名：田淵亮 (担当者：田淵亮) 東京都練馬区豊玉上 2-27-1-502 Tel：03-3994-4980 表示者登録番号：185	後染反物（小紋）	10 反	制作企画 繭生産 製 糸 製 織 染 色	田中種（株） JA にったみどり管内養蚕農家 碓氷製糸農協 南久ちりめん（株） 高田勝（株）
(数量の追加) 田中種株式会社 代表者名：田中隆 (担当者：田中隆) 大阪府大阪市中央区南本町 2-1-8 創建本町ビル 3 階 Tel：06-6261-2091 表示者登録番号：060	後染反物（小紋）	30 反	繭生産 製 糸 製 織 染 色	JA にったみどり管内養蚕農家 碓氷製糸農協 南久ちりめん（株） 高田勝（株）
	後染反物（小紋）	30 反	繭生産 製 糸 製 織 染 色	JA にったみどり管内養蚕農家 碓氷製糸農協 芝井（株） 高田勝（株）
	ニット（靴下）	300 足	蚕品種 繭生産 製 糸 撚糸・精練 製編・縫製	春嶺×鐘月 JA にったみどり・ JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 昭和撚糸工業（株） タビオ（株）

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)	
(製品の追加) おお又株式会社 代表者名：大又義弘 (担当者：大又義弘) 大阪市旭区今市 1-5-15 Tel：06-6955-2200 表示者登録番号：072	ニット (靴下)	100 足	制作企画 蚕品種 繭生産 製 糸 撚糸・精練 製編・縫製	田中種 (株) 春嶺×鐘月 JA につたみどり・ JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 昭和撚糸工業 (株) タビオ (株)
(製品の追加) 株式会社丸十 代表者名 北山 典彦 (担当者：北山典彦) 大阪府東大阪市足代北 2-16-2 Tel：06-6781-2815 表示者登録番号：125	ニット (靴下)	100 足	制作企画 蚕品種 繭生産 製 糸 撚糸・精練 製編・縫製	田中種 (株) 春嶺×鐘月 JA につたみどり・ JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 昭和撚糸工業 (株) タビオ (株)
(製品の追加) 株式会社コノエ そめの近江 代表者名：鹿取源一郎 (担当者：鹿取源一郎) 東京都豊島区駒込 2-2-1 Tel：03-3949-7211 表示者登録番号：169	ニット (靴下)	100 足	制作企画 蚕品種 繭生産 製 糸 撚糸・精練 製編・縫製	田中種 (株) 春嶺×鐘月 JA につたみどり・ JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 昭和撚糸工業 (株) タビオ (株)
(製品の追加) 株式会社京ろまん 代表者名 郡史朗 (担当者：郡史朗) 奈良県奈良市油阪地方町 6-4 Tel：0742-27-8400 表示者登録番号：141	ニット (靴下)	100 足	制作企画 蚕品種 繭生産 製 糸 撚糸・精練 製編・縫製	田中種 (株) 春嶺×鐘月 JA につたみどり・ JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 昭和撚糸工業 (株) タビオ (株)
(数量の追加) 株式会社 高島屋 代表者名：鈴木弘治 (担当者：霧生小牧) 東京都中央区日本橋 2-4-1 Tel：03-3211-4111 表示者登録番号：030	後染反物 (振袖)	180 枚	繭生産 製 糸 製 織 染色加工	JA 那須南管内養蚕農家 松岡 (株) (株) 竹林 (株) 千總
	後染反物 (振袖)	60 枚	繭生産 製 糸 製 織 染色加工	JA 那須南管内養蚕農家 松岡 (株) (株) 松浦絹織 (株) 千總
	後染反物 (振袖)	30 枚	繭生産 製 糸 製 織 染色加工	JA 那須南管内養蚕農家 松岡 (株) 美雲織物 (株) (株) 千總
(数量の追加) 織匠 万勝 代表者名：前田章 (担当者：前田健) 京都市中京区姉小路通堀川東入る鍛冶町 173-1 Tel：075-257-5747 表示者登録番号：026	先染帯地 (袋帯)	300 本	繭生産 製 糸 染 色 製 織	JA 佐波伊勢崎 養蚕連絡協議会養蚕農家 碓氷製糸農協 自社 自社
	先染帯地 (名古屋帯)	150 本	繭生産 製 糸 染 色 製 織	JA 佐波伊勢崎 養蚕連絡協議会養蚕農家 碓氷製糸農協 自社 自社
	先染帯地 (御召類)	150 反	繭生産 製 糸 染 色 製 織	JA 佐波伊勢崎 養蚕連絡協議会養蚕農家 碓氷製糸農協 自社 自社

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(数量の追加) 株式会社榎屋高尾 代表者名：高尾弘 (担当者：高尾朱子) 京都市北区北野西白梅町 77 Tel：075-464-0500 表示者登録番号：038	先染帯地（袋帯）	120 本	蚕品種 繭生産 製 糸 撚 糸 染 色 製 織 錦秋×鐘和 JA 碓氷安中管内養蚕農家 碓氷製糸農協 昭和撚糸工業（株） （株）寺川染工場 自社
(数量の追加) 株式会社宮坂製糸所 代表者名：宮坂照彦 (担当者：高橋耕一) 長野県岡谷市東銀座 2-13-28 Tel：0266-22-3116 表示者登録番号：179	先染帯地 (八寸名古屋帯)	60 本	蚕品種 繭生産 製 糸 染 色 製 織 春嶺×鐘月、錦秋×鐘和 JA 上伊那管内養蚕農家 自社 小杉工房・織処丸重 織処丸重

次回以降の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、審査会の
10 営業日前までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会（平成 25 年度第 5 次）：平成 26 年 1 月 27 日（月）

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締め切り日：平成 26 年 1 月 10 日（金）

年月日	活 動 内 容 等
25.11.7 ~ 25.11.8	提携グループの全体会議への出席及び製糸業者との打合せ（群馬県）
25.11.8	小山地区養蚕産地育成協議会への出席（栃木県）
25.11.8 ~ 25.11.9	農林水産祭「実りのフェスティバル」への参加（東京都 明治公園）
25.11.11 ~ 25.11.12	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係るＪＡとの打合せ（福島県）
25.11.20	養蚕推進会議への出席（栃木県）
25.11.23	農林水産祭への参加（東京都 明治神宮）
25.11.25	純国産絹マーク審査委員会（東京都有楽町 蚕糸会館）
25.12.5	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会との打合せ （東京都有楽町 蚕糸会館）
25.12.9 ~ 25.12.10	提携グループ推進会議等への出席（滋賀県）
25.12.10	提携グループとの打合せ（東京都）
25.12.10 ~ 25.12.12	純国産絹マーク等打合せ（大阪府及び京都府）



本年度農林水産祭にて、加藤内閣官房副長官から
「内閣総理大臣賞」を受賞される山梨県の芦澤定弘さん

丹後ちりめんの伝統と技に 「今」をプラスする若手チームの活動

柴田織物

代 表 柴 田 祐 史

はじめに

2011年11月№.21のシルクレポートでは、「養蚕から手掛けて純国産反物を作る試み」を掲載頂き、本当にありがとうございました。おかげさまで、多くの皆様の応援や、労い、励ましのお声をかけていただくことが出来、たくさんのエネルギーを頂きました。また、改めて、シルクの魅力を感じる経験となりました。

さて、養蚕から始まる物作りというテーマを掲げ、生産から販売と、一連の流れを丹後内で完結する試みから2年が過ぎました。純国産反物の生産につきましては、紆余曲折しながらも、物作りの好きな丹後織物青年団体協議会で力をあわせ、何とか反物の形までこぎつけ、素晴らしい反物が出来ました。

しかし、出来てから、その先の行程である、販売については、簡単なものとは言えませんでした。今回はそんな販売についての体験を述べたいと思います。

生き残りをかけて若手がチームを結成

現在、丹後では、織物業者や染色業者の二代目、三代目などを集め、総勢22社で若手チーム「TANGO（タンゴ）+（プラス）」というチームを作って活動をしています。（丹後織物青年団体協議会を含む。2011年の年末に結成）この「TANGO+」とは、丹後織物のブランド力向上を図るため、丹後織物業者が取り組む新商品開発やその販路開拓を京都府から支援を受けて活動しているグループです。

「TANGO+」では様々な百貨店さんと連携し、全国の店舗において、織元や職人が実演し販売する試みをさせていただいております。実際に店頭に立ってみると、製造現場からは思いもよらない、たくさんの問題にぶつかることとなりました。

最終製品化のノウハウ

本来の流通を考えるならば、先ず私達織元が、生糸商から生糸を購入し、その生糸で反物を作ります。織り上がった反物を、白生地問屋さんに納め、白生地問屋さんか



「TANGO+」のメンバー

ら染つぶし屋さんが生地を買って、染を施す。染上った生地を前売問屋さんが購入し、その染上った生地を小売店さんが購入して、消費者に渡るという流れになります。(一般的な流通形態の場合です)

最近では流通のカットによりコスト削減や、産地直販などの表現で、商品を安く販売している傾向がありますが、丹後産地の小さな一つのメーカーという立場から見ますと、非常に効率の悪いやり方となります。織元が小売をするということは、小売業、前売業、染つぶし業、白生地問屋業、製造業を1社でやるということです。分かりや

すく言うと、自分で生地を織って、自分で染めて、自分で販売して、仕立、納品、アフターケアを一人（1社）でやることになります。

どれだけ多くの専門知識や、専門の技術を身に着け、多くの財と、多くの人材を抱え、且つ膨大な時間がなければ出来ない仕事です。また、その労力とコストは莫大なものとなり、商品価格は現在の丹後ちりめんよりもはるかに高値となります。

今回の「丹後ちりめんの伝統と技に『今』をプラスする若手チームの活動」は、これに近い作業となり、より多くのことを織元が創意工夫をこらし、小売を行っておりま

す。

実際この活動が続けると、生産現場のコントロールは出来なくなり、生産量は激減、産地の存続が危ぶまれる状況が起こるでしょう。しかし、年に数回、百貨店さんの催事に参加させていただくような形態ですので、大きな影響が出ないよう配慮しております。

丹後と言えば白生地です。白生地は生糸についたセリシンを精練という加工工程で落とし、絹糸だけの状態にしたものです。

精練することで、丹後ちりめん独特のシボや柔らかさが表現されます。この白生地の状態では、お客様には分かりません。染上った時のイメージはお客様には分からないのです。店頭に並べるには、染をしなければならないのです。しかも、どのようなお客様が来られるか分からないまま、好みの色を染めて準備するわけですから、1色だけではなく3～5色の染めた反物を用意しないといけません。

この色付けが非常に大事な作業で、丹後の白生地しか作ったことのない織元には大変な作業となるわけです。季節感、来客層、生地の種類を考慮し、色決めをして染めた反物を用意します。そうして反物が準備できましたら、次には札や証紙、パンフレットの作成となります。

商品1反1反には、生地幅、生地長さ、品質（混用率）、上代、税別上代、品名、色、数量などのタグ付けを施します。また、百

貨店さんの店頭では、実演用持込機材の説明、使用許可などなど、小売をしている方から見れば、当たり前の内容なのかもしれませんが、商品を持ち込むだけでも、かなりの事前準備が必要となります。

そうして初めて店頭の商品が並ぶわけですが、什器のレイアウト、商品の装飾、トルソーへの着付けなどを行い、お客様にいかにも上手くPR出来るかということも、重要となります。



百貨店店頭にて



百貨店での展示会



2013 代官山イベントでの接客

実際に店頭に立って見ると、お客様に対応するにも、様々なルールがあり、接客業の大変さを身をもって体験する事となりました。



2013 代官山イベントにて

しかし、お客様と直接対峙すると、多くのことが学ぶこと出来ました。今までは、いい生地を作るのに専念していたわけですが、そもそもいい生地というのは何だろう？と思うようになりました。着心地がいい、皺にならない、などと産地サイドでは思いをめぐらせておりましたが、そうでは

なく、お客様を引き立てる商品、お客様が安心する商品、単純に美しい商品がいい商品となるのでは？と考えるようになり、物作りの方向性がかかりと変るような体験を数多くさせていただきました。元々物作りが得意で、伝統的な撚糸、紋織りの技術は十分持っている産地ですので、方向が見えればアレンジも容易です。

百貨店さんでの販売経験をこれまでで3年間続けさせていただいておりますが、初年度から比べると、商品の色合い、柄粹、バリエーションが大きく変わってきております。実際お客様からの評価も上がり、消費者に伝わる商品が増えてきております。



百貨店でのトークショー（右が筆者）

これまで申したとおり、小売にかかわり実際販売するには、それ相当の覚悟と時間とお金を要します。しかし、この活動で得られた物は非常に大きく、消費者に直接届く商品作りを中心に考えるようになりました。

ここで特筆すべきは、こうした活動で得



百貨店での商品展開

られたノウハウを使って作られた商品は、白生地問屋さん、染つぶし屋さん、前売り問屋さんに非常に受けが良く、スムーズに販売が出来る商品となった事です。

ここまでは小売現場の体験を中心に述べてきましたが、更に SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）などを使った着物ファンの集いも今では盛んに行われています。

例えば、「日本橋きものサローネ」、「着物☆カーニバル」など、本当に着物を楽しんで着られるイベントが数多く行われております。



2013 サローネにて



2013 サローネにて



着物☆カーニバルでの接客

ここでは、お客様と着物の疑問などを直接お話をし、意見交換ができる場所で、敷居が高いとか、入るのが怖いなどとはまったく思わないような場所が出来ております。

今回ご紹介している百貨店様、イベントへ参加することを増やすことにより、小売上代の把握、商品の準備、コーディネート、バリエーションなど、多くの知識と経験を持って、より扱いやすい、商品の生産を心がけるようになりました。何より、お客様

と仲良くなれるのです。

製造から小売までに関わる皆様が一同に会するネットワーク、この場所に参加することで、製造、流通、小売の活性化、ネットワークの再構築が出来、お客様の感動がダイレクトに産地へ届くシステムが出来ると思います。

まとめ

改めて総括いたしますと、丹後産地の形態で小売業は成り立ちません。何処まで行っても流通業は必要なのです。しかし、産地が直接小売をすること、流通が産地を学ぶこと、小売が流通や製造を学ぶことで、流通しやすくお客さまが感動する商品を作

ることが可能なのです。

これだけ縮小してきた業界です。それぞれの立場で流通を見直し、情報を共有する事が必要なのです。業界がこの大きさになった「今」だから出来るやり方、産地、流通、消費者の垣根を越えたやり方を「プラス」して、喜ぶお客様の顔を見ながら、明るい明日に向い、楽しく仕事をしましょう！

過去の大量生産のスタイルからは少しでも早く脱却し、消費者をまっすぐ見て行けば、感動のループが作れます。

作り手の笑顔と、お客様の笑顔が少しでも多く出会えるような仕事をしていきたいと願っております。

製糸工場を併設する新しい岡谷蚕糸博物館の誕生

—平成 26 年 8 月 1 日 開館—

市立岡谷蚕糸博物館

館長 高林 千幸

岡谷は明治初年よりわが国の生糸の一大生産地として発展し、その生糸は海外へ輸出され、外国から「シルク岡谷」と呼ばれてきました。当館は、昭和 39 年に明治初期からの製糸機械類や資料を時代的背景に基づき展示するわが国唯一の蚕糸に関する博物館として開館しました。これまでの間、地元地域の皆様はもとより、全国から多くの皆様にご来館頂き、わが国の近代化の礎を築いた製糸業の姿と先人の偉業を学びご覧頂きました。また、カイコ、まゆに始まりシルク全般に触れる生涯学習の場としてもご利用頂きました。

この度、岡谷市ではこれまで博物館のあった場所での岡谷市民病院建設に伴い移転となり、新しい場所として旧農業生物資源研究所生活資材開発ユニット（岡谷市郷田 1-4-8、旧蚕糸試験場岡谷製糸試験所）を改装し、再出発することとなりました。現在、その工事を進めており、平成 26 年 8 月 1 日に開館致します。

新しい岡谷蚕糸博物館は、次の 3 点を使命として活動していきます。

1. 数多い蚕糸資料を核に、我が国の近代化を牽引し、世界に「シルク岡谷」を轟

かせた岡谷の歴史と岡谷のものづくり精神を伝え、「新しいシルク文化」が生まれるまちをめざします。

2. 岡谷ブランドとしての「岡谷シルク」の魅力と可能性を発信し、地域の活性化・産業の活性化をもたらす市場性のある博物館をめざします。

3. 蚕糸による総合的学習活動・地域活動・生涯学習を通じ「人の育成と社会教育」を行い、安らぎのある楽しい博物館をめざします。

館の構成としては、①「エントランスエリア」、②「コミュニティー・ワークショップエリア」、③「ミュージアムエリア」からなります（図 1）。

①エントランスエリア（117.14 m²）は、市内の近代化産業遺産群（平成 19 年経済産業省認定）を巡る出発点として、「岡谷ブランド」の情報発信拠点となります。

②コミュニティー・ワークショップエリア（2 階建て、813.40 m²）は、養蚕・機織り・カイコ学習・まゆアート・研修などを行う多目的スペースとなります。

③ミュージアムエリア（1,446.09 m²）は、製糸業の全容を一堂にご覧いただける糸

都岡谷ものがたりゾーン、㈱宮坂製糸所（上州式座繰り機・諏訪式座繰り機等）での作業の様子をご覧頂いたり、見学者自らが繰糸体験をすることのできる動態展示ゾーンから成っています（図2）。

新岡谷蚕糸博物館は製糸工場を併設する世界に類のない蚕糸博物館となります。展示・見学はもとより、体験・学習活動も充実させていきます。

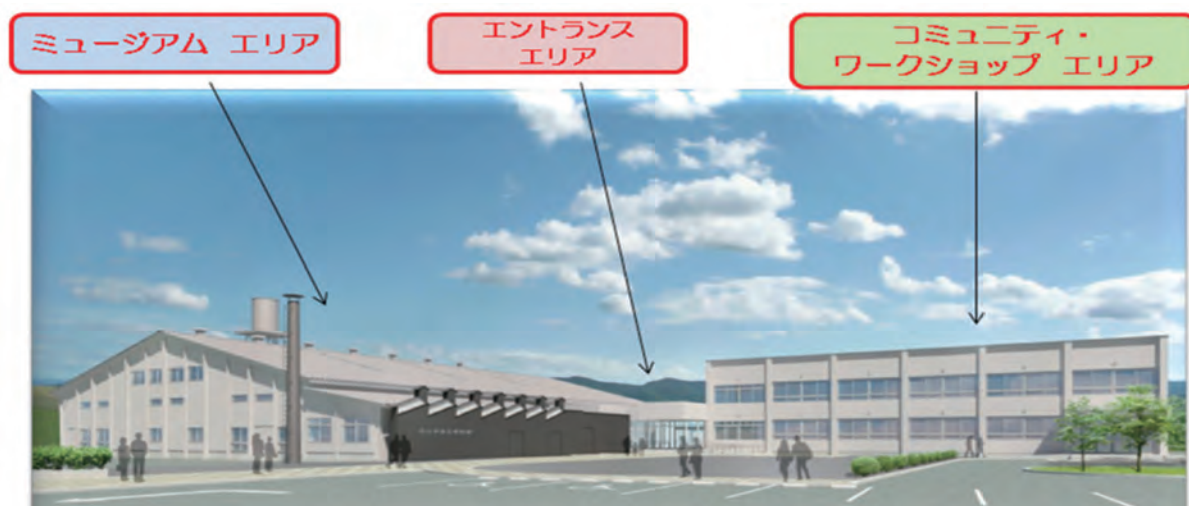


図1 新しい岡谷蚕糸博物館の外観イメージ

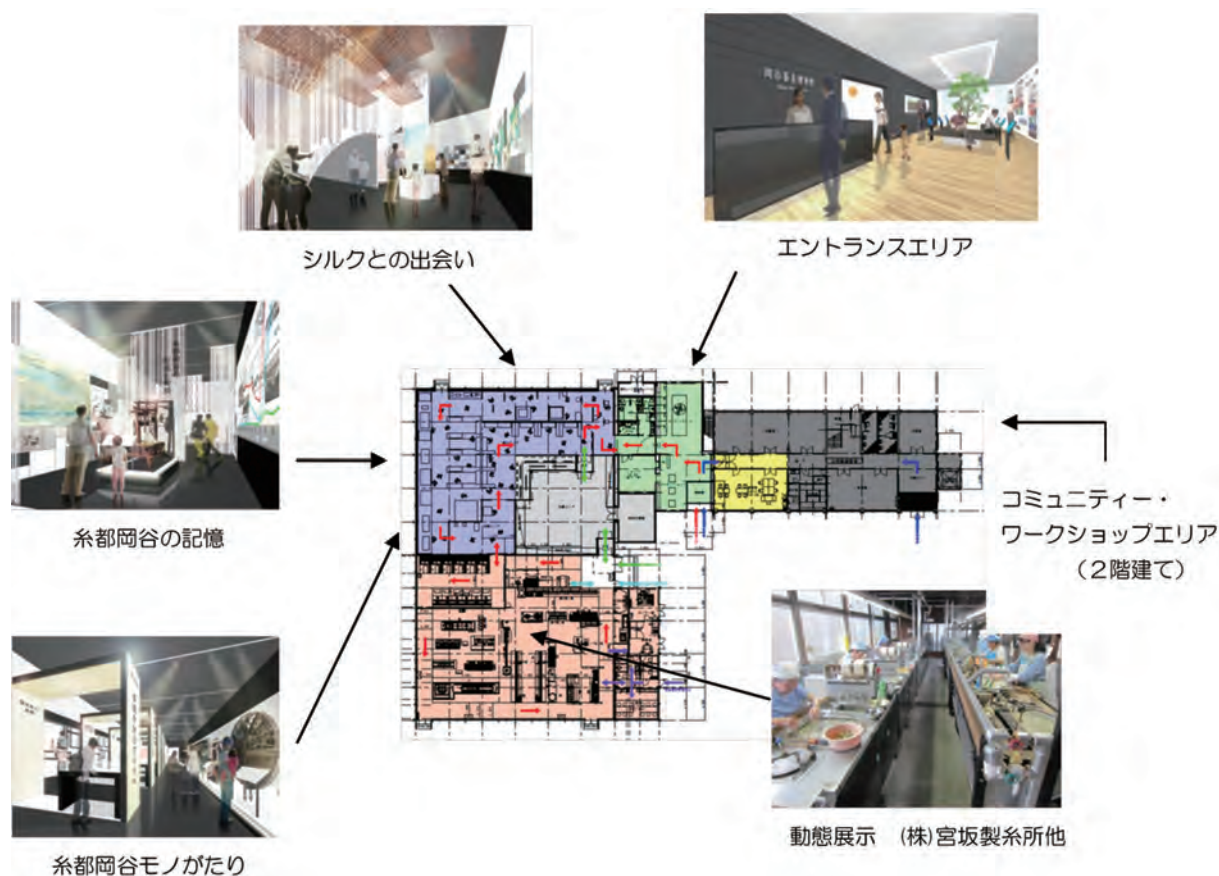


図2 新しい岡谷蚕糸博物館の展示イメージ

「2013 年 中国国際シルクフォーラム」に出席して

財団法人 大日本蚕糸会

副会頭 久保 脩

本フォーラムが、中国シルク協会および杭州市人民政府の主催で2013年（平成25年）10月25日、中国の浙江世貿君瀾大飯店（杭州市・ナラダグランドホテル）で開催された。

参集者は、中国シルク協会会長ほか中国各地の蚕糸絹産業関係者多数が参加していた。海外から自国の情勢発表を行ったのは、中国のほかでは、イタリアと日本であったが、インド（発表レジュメも用意）、韓国のほか欧州や東南アジアの絹生産・消費国からの参加があり、200名を超える参加者があった。当方は、栗岡聡主任研究員（蚕糸科学研究所）とともに参加した。

このフォーラムは、ISA（国際絹業協会）が2004年に解散して以降、蚕糸絹業の国際的な情報交換の場として設けられ、2006年に初回が開催されて以来、今回で5回目の開催となる。今回のフォーラムにおいても前回の2011年開催時と同様に中国各地のシルク関係事業者が出展する「中国国際シルク博覧会及び中国国際レディース・ファッション展覧会（同ホテル隣接会場・10月25～28日）」と同時開催された。また、前夜祭では、中国国際レディース・ファッション展覧会のデザイン部門グランプリ決勝戦が行われ、フォーラム終了の夜には、2014/2015年春夏向け中国シルクファッション発表会、金富春杯中国ウエディングドレスグランプリが開催され、華麗なファッションショーが開かれているが、紙面の制約もあるので、ここではフォーラムで注目された発表に絞って、概要を紹介する。

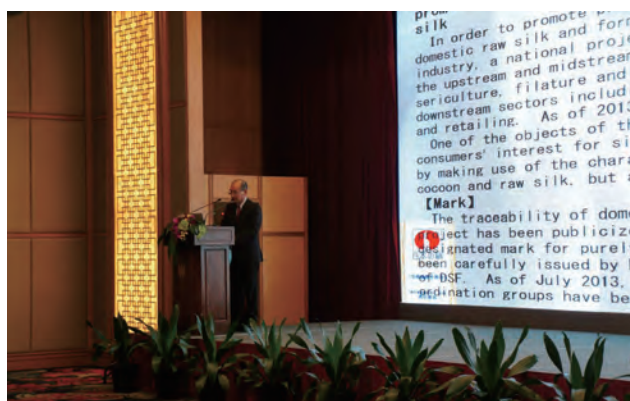


国際フォーラム会議風景

1 日本

読者は既に我が国の蚕糸情勢を御存知のことなので詳細は省略するが、「日本の蚕糸絹業の現状」と題して講演した発表項目を列挙しておく。

①従来国際関係の窓口であった日本絹業協会が解散し、大日本蚕糸会がその主要業務を継承したこと等②国内の絹需給状況③大日本蚕糸会が行っている蚕糸絹業と文化の振興対策の概要、特に蚕糸・絹業の提携事業及び純国産絹マークの活動を説明④最近の研究開発課題⑥中国提案の電子検査システムへの期待、等を発表した。



日本の蚕糸絹業情勢を講演する筆者

2 中国

中国シルク協会会長（楊永元 Yang Yongyuan）が、「2013 年中国絹産業の状況」と題して、「絹産業の現状」「絹産業が直面している課題」及び「発展の重要ポイント」に分けて発表を行った。

（1）現状

①経済状況として世界的絹需要の落込み、輸出の伸び悩み、国内経済成長の鈍化、生産コストの上昇及び人民元相場の高騰を挙げ、2008 年以降、中国絹産業の構造調整、成長安定化、及び内需拡大に取り組んでいることを強調した。

② 2012 年の生産数値

一定規模以上企業絹総生産高；1,149 億 4,000 万人民币元（対前年 16% 増、約 2 兆円）、桑園面積；1,262 万ムー（84 万 ha）、繭生産量；68.8 万トン、生糸生産量；12.6 万トン（210 万俵）、近年のシルク商品（蚕糸類、絹織物及び絹製品）総輸出額：35 億ドル前後

③特徴的動き

- ・加工最終製品の割合が増大し、絹絨毯、絹布団の生産が急成長している。
- ・「高級シルクマーク」の市場認識が高まり、現在の許諾 32 社の年間売上額は 25 億人民元に達している。

・ビジネスモデルとして、フランチャイズショップや直営店の開設、電子商取引が急成長している（江蘇、浙江、四川、広東等の12省・市の78社の58%が「^{タオバオ}淘宝」「^{アリババ}阿里巴巴」等のウェブサイトでもオンラインセールス）。

・絹文化が産業の中で逐次形成されつつあり急発展している（深圳中絲園（シルク生活館、シルク文化博覧館等があり、広東省シルク紡織集团有限公司が運営）、四川シルク博物館）

・絹産業に関する科学技術の向上が著しい。

i) 新世代の柞蚕ハイテク繰糸機 ii) SR3020 減圧煮繭機 iii) 低価格ハイテク高級レピア織機等の開発 iv) 1 デニールの極細繭糸の新蚕品種開発 v) 桑の樹皮繊維の機械化製造設備の開発 vi) 絹資源の総合利用技術開発（蛹の脂肪抽出等々）

・生糸品質電子検査について、ISO 手続き推進中である。

（2）中国の絹産業が直面している課題

①産業構造調整による課題

i) 都市開発や工業開発のため、東部沿岸部の養蚕が縮小している。

ii) 「東桑西移」国家プロジェクトで養蚕産地が広西自治区、四川省、雲南省等中央部・西部へ移動しつつある。

iii) この結果、産業構造調整として、川上と川下の統合推進し、如何に合理的配置で最高利益モデルを構築できるか重要な課題である。

②市場構造の変化による課題

フランチャイズ店や直販店、オンラインショップを展開により、絹の国内販売割合が約50%と高まったが、これに伴う宣伝、販促等の対応の遅れあり、独自ブランドの確立が急務である。

（3）中国絹産業発展の重要ポイント

前述の課題を再提起しつつ、次のことを強調された。

- ・構造調整（中部西部への産地移動、川上川下の提携等）
- ・ブランド創出（高級シルクマーク活用）



中国シルク製品の展示

-
-
- ・技術の改良促進（省エネ、排出削減技術）
 - ・各地の絹博物館及び絹文化テーマパーク等建設の支援（中国シルク文化の高揚促進）
 - ・国内外の市場の重視及び絹製品の消費拡大

3 関係国

(1) イタリア

イタリアシルク協会会長（ジュゼッペ・ビアンキ Seteria Bianchi）が、「絹を取り巻くイタリアの状況」と題して、次のような発表を行った。

①総論

- ・イタリア経済は、深刻な危機に見舞われ、内需は依然縮小していること。
- ・絹産業は、他産業より比較的状况は良く、売上高の75%は輸出で、主要輸出先はフランスで、ほかドイツ、ロシア、アメリカ等である。
- ・2012年のイタリア製絹製品の輸出額は、8億9,400万ユーロ（対前年6.1%増、約1,200億円）中国からの輸入量は、生糸2,037トン（約3万4千俵）、絹織物1,934トン（大半は生機織物）。
- ・高級な衣料品やスカーフの分野が好調であり、また、絹混紡織物を用いた新たな製品販路拡大もみられる。

②重要な顧客である極東地域、中国について、次の問題を提起

（価格）

- ・絹の価格上昇は必然的であり、「安価な絹」という言葉は矛盾しており、安価追求なら他繊維を用いるべきである。しかし、短期間での価格高騰、暴落は絹の利用者に損害を与える。
- ・価格変動の幅を効果的に抑える中国商務部・国家繭絲綢弁公室の国家備蓄政策に感謝し、今後も期待している。

（知的所有権）

- ・いわゆる「コピー」に対する苦情が頻出しており、協力体制の維持が必要である。

（品質）

- ・品質は、ヨーロッパの絹産業にとって、最重要課題である。
- ・東桑西移による中国の養蚕産地移動に伴う蚕生産飼育技術向上の努力を評価するが上質な絹（ここでは生糸、絹撚糸、絹紡糸と理解）の不足は、ファッションブランドが絹離れを起こしかねない。
- ・中国南西部で、未乾燥繭から生糸を繰糸する製糸工場増加しているが、この生糸の使い方には工夫が必要であり、また、品質確保が必要である。

(2) インド

インドシルクマーク協会会長 (T.V. マルテイ Shri T.V.Maruthi) 名で「絹の産業と輸出の促進に関する今日的課題」と題した次のようなレジュメを用意されていたので、紹介しておく (本人発言はない)。

- ①インドの蚕糸業は、数百万人もの就労の場を設け、生糸生産量は 2007-2008 年期中で 18,000 トン (約 30 万俵)、2012-2013 年期中で 23,700 トン (約 39.5 万俵) と増加。
- ②インドの絹以外の織物産業は、ウォータージェットの無杼織機など技術設備の進歩が著しいが、絹産業の分野は遅れており、小規模企業が乱立する状況である。
- ③2012-2013 年期中の絹の輸出額は、4 億 1,000 万ドル (約 400 億円) で年々減少傾向にある。主な輸出相手国は、アメリカ、アラブ首長国連邦、イギリス、その他ヨーロッパと中近東である。輸出用絹製品に使う 4A、5A 格の高品質生糸は、中国からの輸入価格が 60 ドル / kg と高く、諸経費を入れたインド国内出回り価格は 4,500 ルピー (約 7,200 円) / kg もの高値になっていて、絹製品の製造輸出が難しい状況にあり、輸出が減る要因にもなっている。
- ④今後、中国からの輸入品との競合もあり、高品質な生糸作りのための自動繰糸機の輸入や高級製品作りのための新しい技術導入が必要である。また、輸出を伸ばすためには、2 化性蚕による品質向上が急務である。

4 中国シルク博物館館長

中国シルク博物館長 (趙豊、Zhao Feng) が「世界遺産を背景とする新たなシルクロード」と題して、次のような発表を行った。

- ①文化遺産としての絹・世界のコレクション
 - ・絹 5000 年の歴史を振り返りつつ「“シルクロード” は、世界の経済・文化交流と同意語」とし、世界各国 (ヨーロッパ、中近東、アメリカ、南アジア等) で野蚕を含めた養蚕に取り組んでいた。
 - ・そして、ニューヨークのメトロポリタン美術館はじめ世界 100 か所以上の博物館が、中国の絹を大量に所蔵し、絹は文化財として世界規模で収集されている。
- ②絹の技術、人類の無形文化財
 - ・2006 年 4 月にユネスコ「無形文化遺産の保護に関する条約」が発効し、伝統的絹生産技術がユネスコ「人類の無形文化遺産の代表一覧」に盛り込まれ、2008 年以降中国各都市の申請による南京雲錦、蘇州宋錦、成都の四川錦等が登載されている。
 - ・現在、中国絹製織エコパークの開設にも取り組んでいる。
- ③絹にまつわる史跡・世界遺産

絹の生産に関わる場所は、世界文化遺産としてユネスコに承認申請されており、2014年世界文化遺産候補者リストには、絹関連で次の3カ所が候補になっている。

- i) 富岡製糸場及び絹産業遺産群（日本）：同氏がユネスコの諮問機関である国際記念物遺跡会議(ICOMOS)の現地調査に参加。1872年の設立からその後の民営化の動きのほか、関連施設3カ所（田島弥平の蚕室、高山社、荒船風穴）がある。

注) 発表レジュメの原文は「下記」の通り。

- ii) シルクロード・起点と天山回廊（中国、カザフスタン、キルギスタンの3国共同）：33カ所を対象とした広大な地域で、漢王朝の長安の未央宮、唐王朝の長安の大明宮等が含まれる。

- iii) 北京～杭州の大運河（中国）：運河沿いの35の都市が連携。本年9月にユネスコ世界遺産センターの専門家が、絹関連工場等を含む132カ所等を現地調査済み。

④世界文化遺産の観点から見た絹の発展の道筋

5000年の歴史の中で数多くの優れたデザインがあること、中国の全国規模の科学支援プロジェクト「絹遺産デザイン素材を抽出再生するための基本的技術研究」を実施していること、最近の電子ジャガード技術等を用いた織物の組織構造の刷新が注目されること、絹ブランドの宣伝強化が必要なこと、等を強調している。

発表レジュメの“富岡製糸関係”抜粋

（絹にまつわる史跡、世界遺産）

絹の生産、特に現代の絹の生産には広大な用地が必要とされる。それは移動できる類のものではない。このような場所は世界文化遺産および世界自然遺産としてユネスコに承認されるべきものである。世界文化遺産の申請は、毎年一回実施されている。現在審査を受けている2014年世界文化遺産候補地リストには、絹に関わる史跡が3カ所含まれている。

ひとつは、日本の「富岡製糸場および絹産業遺産群」である。私は9月25～26日に、ユネスコの諮問機関である国際記念物遺跡会議(ICOMOS)を代表して現地調査を実施してきたところである。富岡製糸場は、明治5年(1872年)に日本の近代化を進めるために明治政府が設立した模範器械製糸場である。フランスの技術を導入した当時世界最大の繰糸所である。1876年にはフランス人技師が帰国し、製糸場は日本人によって運営されるようになる。1893年に日本では官営企業の民営化が実施され、富岡製糸場は三井家に払い下げられた。その後1902年に、原合名会社に売却される。1938年には株式会社富岡製糸所が設立される。翌年1939年に片倉製糸紡績株式会社と合併した。1987年に生糸価格の低迷により操業は停止された。現在、敷地内の建造物はほぼ全棟、保存状態がよく、繰糸工場のほか東繭倉庫、西繭倉庫、外国人宿舎（女工館、検査人館、ブリューナ館）をはじめとする主

要な建造物（いずれも日本の重要文化財に指定されている）が創業当時のままに保存されている。

この製糸場のほかに、関連施設が3カ所ある。ひとつは田島弥平の蚕室である。田島は当時の最新の飼育技術をさらに改良し（清涼育）、1863年に独自の蚕室を建てた。二階建てのこの建造物には画期的な構造が採用されている。棟上には、換気の問題を解消するべく超屋根が施されている。典型的な近代養蚕施設と考えられるものである。二つ目は、高山社である。高山長五郎は、換気および温度管理を特徴とする先進的な近代養蚕技術（清温育）を確立した人物である。高山社の清温育は、1891年には近代的養蚕技術の理想的な実践学校となり、その後、甲種高山社蚕業学校が設立された。三つ目は、1905年から1914年にかけて造られた荒船風穴である。これは、地下の岩の隙間から吹いてくる冷気を活かして蚕の卵を保存する冷貯蔵施設である。この方法により、蚕の卵を確実に供給できるようになった。荒船風穴は、当時、国内40道府県のほか朝鮮半島の需要を満たすことができたものであった。



富岡製糸場と絹産業遺産群の紹介

シルク遺産を訪ねて^⑬

前橋市蚕糸記念館

東京産業考古学会

副会長 平井 東 幸



写真1 蚕糸記念館の外観

昭和56年に群馬県指定の重要文化財に指定されたこの記念館は、旧蚕糸試験場事務棟であり（写真1）、現在地に移築保存されたものである。竣工後101年を経た建物が貴重であるだけでなく、館内の展示もなかなか豊富で興味深い。

この文化財の見どころとしては、①市内では明治期の洋風建築物として唯一である、②原蚕種製造所の建物としては全国唯一である、③展示品の多くが国の登録有形

民俗文化財であることだ。

まず、建物の由来だが、明治45（1912）年に国立原蚕種製造所前橋支所の本館として市内岩神町（現在の昭和町）に竣工。以来、蚕業試験場、蚕糸試験場養蚕部等を経て、組織は昭和55年に組織統合により筑波学園都市に移転した。市と県では後世に残すため国から払い下げを受けて現在地に移築1981年にオープンしたもの。冬季は開館していないが、入館者は年に約5千人にのぼる由。

建物（下図）は木造平屋建てで横箱目地板張り、その特長としては、①玄関ポーチのギリシャ風の角柱（10本）が印象的、②高い天井と上下開閉式の窓、③唐草模様の床下換気口、④玄関上の塔（装飾用）、④照明器具も当時のもの、が指摘されている。設計者は不詳だが、施工は埼玉の棟梁関口氏。

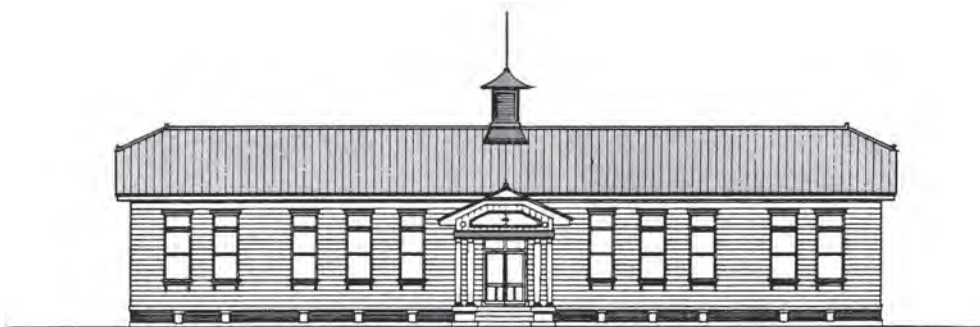


図 蚕糸記念館の正面

次に、館内展示についてみると、養蚕・製糸に関する器具・用具・文献資料等が多数陳列されている。第一展示室には、設立経緯や開所当時の文物、第二展示室には、養蚕用具、第三展示室には、製糸関係資料、そして第四展示室には、織機関係がそれぞれ展示されている。その多くは蚕糸試験場から引き継いだものもあるが、市民から寄付されたものも少なくない。とくに貴重なものとしては、安政4年の銘入りの上州座繰機がある(写真2)。冒頭で触れたように、展示品の多くは平成20年に「前橋の養蚕・製糸用具及び関連資料」として国の登録有形民俗文化財の登録されている。総点数は633件、そのすべてがここと粕川歴史民俗資料館に展示されている。

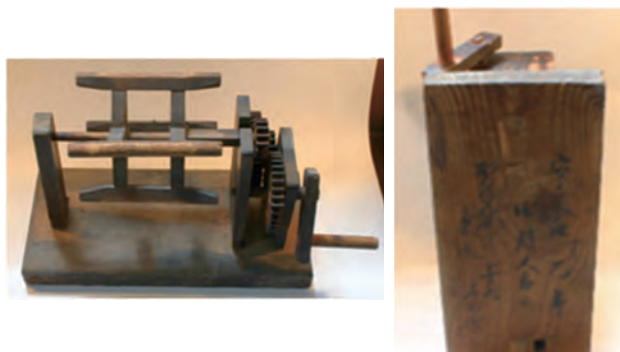


写真2 上州座繰機（安政4年）

「県都前橋^{いと}生糸のまち」の同市は明治・大正・戦前昭和と、わが国屈指の繭・生糸の生産地・集散地であった。そのピークは大正と昭和初期の2回あったが、戦後も昭和30年代になると合成繊維の登場と機械工業等の繁栄もあって、業況は低下の一途をたどり、昭和50年代には製糸業が、平成に入ると織布業もほとんど姿を消した。なお、この記念館は世界遺産候補の富岡製

糸場と絹産業遺産群には含まれていないのは残念だが、ただわが国初の器械製糸所は富岡ではなく前橋であったことを確認しておきたい。

このような歴史を有する同市の養蚕・製糸の貴重な産業遺産を保存展示していることは、幕末以来、その輸出を通じてわが国経済社会を大きく支えたシルク産業を顕彰するものとして大いに評価したい。

なお、同じばら園内には「萩原朔太郎記念館」がある。このほか、「県庁旧庁舎」、その隣の「群馬会館」（昭和7、8年）さらに北には「臨江閣」（明治17年、42年、県重要文化財）が保存・利用されている。おついでに見学されることをお勧めしておきたい。

終わりに、ご案内等をいただいた前橋市教育委員会文化財保護課の小島純一課長補佐に感謝致します。

（※写真及び図は、同市文化財保護課提供）

■前橋市蚕糸記念館

開館日：4～11月の土曜・日曜・

祝日のみ開館

開館時間：午前9時～午後4時

所在地：群馬県前橋市敷島町262
（敷島公園バラ園内）

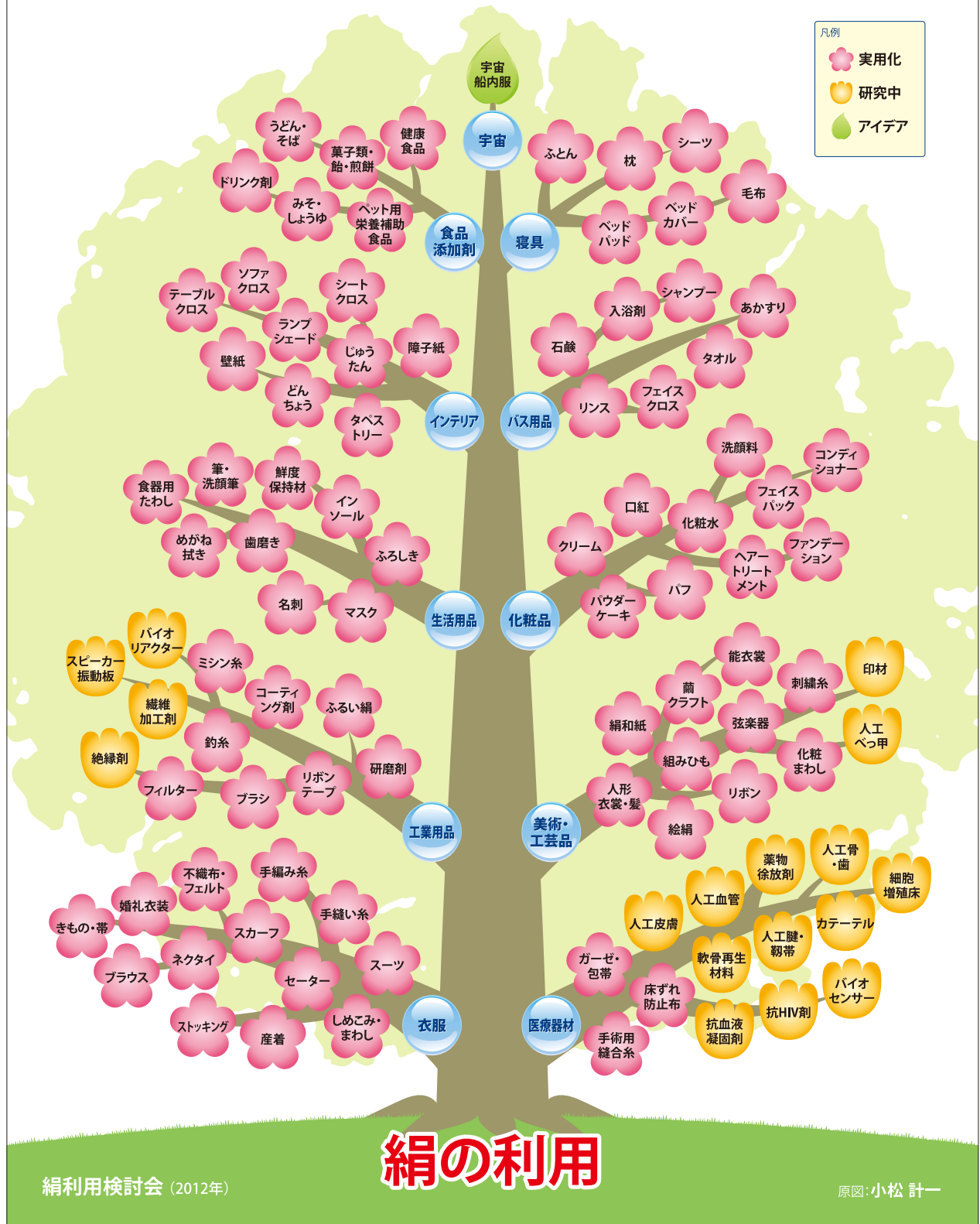
Tel：042-676-4064

アクセス：JR「前橋」から車で約15分
関越自動車道「前橋IC」から
車で約15分

入館料：無料

問合せ先：前橋市教育委員会文化財保護課
Tel：027-231-9875

絹利用の系統樹



ランプシェード

シートクロス

じゅうたん

障子紙

どんちよう

タベストリー

絹利用検討会 (2012年)

原図:小松 計一

イベント情報

イベント名	企画・展示内容	開催日（期間）	場所・主催者等
純国産絹製品の紹介	（プラチナボーイの着尺と帯） 出展者は東京銀座の(株)銀座もとじ。雄だけ孵化する蚕品種「プラチナボーイ」から取った糸で染織作家により反物や帯に仕上げられた作品。	会期：平成26年1月6日（月）～24日（金） 開催時間：10:00～18:00	主催：ジャパンシルクセンター 会場：ジャパンシルクセンター（純国産絹製品コーナー）東京有楽町 蚕糸会館1F Tel03-3215-1212
	（真綿入りの布団、ひざかけ） 出展者は滋賀県米原市の近江真綿振興会。愛媛県産の繭を使用した近江真綿振興会のオリジナル製品。	会期：平成26年2月10日（月）～28日（金） 開催時間：10:00～18:00	
国産絹箏弦を聴く会	国産絹箏弦普及の会は、この5年にわたって国産の蚕から作った絹の箏弦を多面的に研究してきました。その結果、響きが良く、耐久性があり、かつ演奏者に負担をかけない絹の弦が出来ました。今回の演奏会でそれをご披露します。	日時：平成26年1月18日（土）14:00会場、14:30開演 （入場無料。整理券が必要。紀尾井チケットセンターにお申し込みください。 Tel03-3237-0061） お問合せ：蚕糸科学研究所Tel03-3368-4891、fax03-3362-6210	主催：国産絹箏弦普及の会 共催：(財)大日本蚕糸会 後援：公益財団法人日本伝統文化振興財団 場所：紀尾井小ホール

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
第28回企画展 「ちりめん創作人形展 ～故郷に遊ぶ～」	小紋や友禅などに使われている「ちりめん」は、「しぼ」と呼ばれる布表面の凹凸によって、絹の柔らかさに立体感を加えているのが特徴です。本展は、ちりめんの古裂等を使った人形を制作し、広く活躍している作家・竹本京氏の作品を中心に展示します。今回は、地域に根付いて残るお祭りや風習・伝統の情景を表現したものを中心に、ちりめん創作人形やちりめん細工など、約100作品を展示いたします。「故郷をもう一度見つめ直し、記憶をあたりにして残したい」という想いでつくられた竹本京氏の世界を堪能していただくとともに、創作人形やお細工物に使われている絹の魅力を感じて頂ければ幸いです。	・会期 平成25年12月14日 (土)～2月23日(月) 休館日:火曜日、 年末年始(12/27 ～1/5) 入館料 一般400円 高・大学生250円 中学生以下無料 *団体割引有り	・主催:群馬県立日本絹の里 ・協力:人形工房 竹本京 ・会場 日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888 -1 Tel027-360-6300
1%が織りなす美 「純国産宝絹展」	高度な技術と熟練した職人の手仕事により作り出される純国産絹。今回「純国産宝絹展」では、命ある蚕からどのようにして絹が生まれていくのかを「すごろく」で解説した「今」と、貴重な絹にファッションデザイナーが新たな命を吹き込んだ「未来」の2つの視点から、その魅力に迫ります。	・会期 平成26年1月2日 (木)～1月7日(火) 開催時間 午前10:30～午後8時 (2日は10時から) ・入場無料	・主催:蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 ・後援:農林水産省/経済産業省/大日本蚕糸会 ・会場 伊勢丹新宿店本館7階 ・問合せ先 Tel03-5642-6527事務局
その絹に、世界が恋した。 「純国産宝絹takaraginu展」	この度、明治より絹と関わり深いシルクの街 横浜において、「純国産<宝絹>展」を開催します。日本の近代化の源となり、着物文化の根幹を支える「純国産絹」が今、危機に瀕しています。現在、蚕糸・絹業に携わる関係者は、蚕の育成から純国産絹製品に至るまで一貫した品質の維持確保に努め、消費者の皆様に支持される「良いものづくり」に取り組んでいます。本展では、その活動の一端をご紹介します。	・会期 平成26年1月8日(水) ～1月12日(日) 開催時間 午前10時～午後8時 (12日は18時まで) ・入場無料	・主催:蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 ・後援:農林水産省/経済産業省/大日本蚕糸会/ シルク博物館 ・会場 横浜タカシマヤ8階催会場 ・問合せ先 Tel03-5642-6527事務局

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧

平成 25 年 12 月 2 日現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物（振袖、訪問着、付下、色無地、黒留袖、喪服）、 胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物（色無地）、胴裏（灰汁浸け加工）
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物（色無地、黒紋付）
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物（色無地、黒紋付）
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物（色無地、黒紋付）
010	(有) 樹（いづき）	秋田県横手市	後染反物（色無地、黒紋付）
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物（作家作品）、後染帯地、先染反物（大島紬、結城 紬、御召、作家作品）、先染帯地（織九寸帯、織角帯、作家 作品）、白生地、和装小物（帯締、羽織紐）、八掛、胴裏
012	河瀬満織物（株）	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物（色無地、黒紋付）
016	(株) 絹回廊	東京都中央区	後染反物（色無地）
017	(有) 琴路屋	岩手県釜石市	後染反物（色無地、黒紋付）
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
019	丸善本店	福島県いわき市	後染反物（色無地、黒紋付）、白生地（表地）
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物（色無地、黒紋付）
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 （絹小沢（株））	群馬県高崎市	裏地（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、灰汁浸加工、トルマリン 加工）、八掛、比翼地）、長襦袢地、後染反物（作家作品、紋付地）、 白生地（世紀二一）、後染帯地（（冬物・夏物）：うるし糸が5%を超 えるもの）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、和装小物（袷紗）
022	宮階織物（株）	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物（色無地、訪問着）、先染帯地（袋帯（草木染、唐織））
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物（有）	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地（袋帯、名古屋帯）、先染反物（御召類）、後染反 物、先染帯地（袋帯：金銀糸が5%を超えるもの）
027	(有) 織道楽塩野屋	京都市上京区	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー、腹巻、 手袋、靴下））

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物（江戸小紋、付下、友禅、色無地）、後染帯地
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物（色無地、黒紋付）
030	(株) 高島屋	東京都中央区	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、 白生地（長襦袢地、胴裏）、ニット（靴下）
031	(株) さが美	横浜市港南区	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物（色無地、黒紋付）
033	(有) 特選呉服専門店 後藤	青森県むつ市	後染反物（色無地、黒紋付）
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物（色無地、黒紋付、小紋）
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物（色無地）、後染帯地、白生地（表地、胴裏、帯地）
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物（色無地、黒紋付）
038	(株) 榊屋高尾	京都市北区	先染帯地（袋帯）
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物（色無地、黒紋付）、白生地（表地）
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物（色無地、黒紋付）
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）、白生地（結城紬）
042	染織家柳崇	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	染織家児玉京子	沖縄県竹富町	先染反物
044	草木染工房山村	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、ストール
045	手織りよおん	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房	沖縄県石垣市	先染反物（紋紬、緋）、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音（株）	京都市中京区	後染反物（色無地（変三越、駒紬））
051	やまと（株）	京都市下京区	後染反物
053	桜井（株）	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物（有）	京都市上京区	先染帯地
055	太田和（株）	京都市中京区	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物（色無地、黒紋付）
058	浅山織物（株）	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
060	田中種（株）	大阪市中央区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、黒紋付、加賀友禅、色無地）、後染帯地（九寸名古屋帯）、ニット（靴下）
061	（株）京扇	東京都中央区	後染反物（色無地）、胴裏（パールトーン加工）
062	（株）なごみや	横浜市都筑区	後染反物（色無地、黒紋付）
063	丸池藤井（株）	京都市中京区	後染反物（色無地）、八掛
064	久保商事（株）	京都市中京区	和装小物（帯揚げ、半衿）
065	加賀グンゼ（株）	石川県小松市	胴裏
066	千切屋（株）	京都市中京区	後染反物（訪問着、付下）、後染帯地
067	荒川（株）	京都市下京区	和装小物（帯締、帯揚げ）
068	第一衣料（株）	東京都中央区	後染反物（色無地）
069	（株）紅輪	川崎市宮前区	後染反物（色無地）
070	装いの道（株）	東京都千代田区	白生地（帯地、表地）、胴裏（トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸）
071	（株）高橋屋	岩手県一関市	胴裏（灰汁浸加工）
072	おお又（株）	大阪市旭区	胴裏（灰汁浸加工）、ニット（靴下）
073	（株）天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏（ぐんま 200（灰汁浸加工））、白生地（表地）
074	（株）きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏（パールトーン加工）
075	（株）とみひろ	山形県山形市	胴裏（酵素精練）
076	（株）細安	福井県福井市	胴裏（酵素精練）
077	京和きもの（株）	神奈川県厚木市	胴裏（酵素精練）
078	（株）まるため	長野県長野市	胴裏（トルマリン加工、パーリー加工）
079	（株）小川屋	群馬県前橋市	胴裏（トルマリン加工、灰汁浸加工）
080	（株）エムラ	山口県防府市	胴裏（酵素精練）
081	（株）荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏（酵素精練）
082	（株）牛島屋	富山県富山市	胴裏（酵素精練）、後染反物（小紋）
083	（株）谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏（酵素精練）
084	（株）登美屋	岩手県北上市	胴裏（パールトーン加工）
085	（株）川平屋	愛知県豊田市	胴裏（パールトーン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
086	丸専第一衣料（株） （丸専きもの）	新潟県長岡市	胴裏（パールトーン加工）
087	（株）大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地（胴裏、比翼地（振袖用））、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール
089	（株）あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品（ショール、マフラー）
090	藤井絞（株）	京都市中京区	後染反物（色無地）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装 品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
096	(株) 北尾織物匠	京都市上京区	先染帯地 (袋帯、名古屋帯)
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5%を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5%を超えるもの)
100	京商 (株)	鳥取県米子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(株) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が 5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金 銀糸が 5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物（色無地）
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物（色無地）
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏（酵素精練）
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地（表地用（紋意匠））
128	大門屋	福井県大野市	白生地（牛首紬）、後染帯地（牛首紬）
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物（帯揚げ、半衿）
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物（小紋）
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物（小紋）
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物（小紋）
133	西川産業（株）	東京都中央区	寝具寝装品（掛布団）
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣（長肌着、短肌着）
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物（小紋）
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物（小紋）
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、禪
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物（小紋）
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物（小紋）
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）
142	五嶋（株）	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏（トルマリン加工）、後染反物（小紋（変一越））
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物（色無地）、後染帯地
146	宮井（株）	京都市中京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、加賀友禅）
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、トランクス）、パジャマ
150	(有) さいとう呉服店	千葉県市川市	後染反物（色無地、付下）
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
153	勝山織物（株）	京都市北区	先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物（型友禅、羽二重色無地）、先染反物（ジャガード織）
155	東朋（株）	京都府与謝野町	ストール
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
165	(株) 染織こうげい	東京都中央区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) やまだ呉服店	長野県諏訪市	白生地 (縮緬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-22-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館 “紫” (ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館 ((財) 日本きもの文化協会)	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌木 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109-1	0532-52-5265
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静海市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
絹の白生地資料館	604-8176	京都府京都市中京区御池通室町東入る竜池町 448-2 伊と幸ビル	075-254-5884
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0311	兵庫県養父市大屋町大家市場 117	0796-69-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5-1	0287-36-0949
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市市羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399

名 称	〒	住 所	電 話
日本司法博物館（松本歴史の里）	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設（結城市伝統工芸館）	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」（つるばみ）	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉淵町権田 5344-1235	027-340-6060
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2（大杉公園隣り）	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号（上田城跡公園内）	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館（織の文化館）	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房（織りの資料館）	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野 514	0749-37-4131
織元田勇（田勇機業株式会社）	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工芸品産業振興協会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.tafts.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室

<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>

(国) 東京農工大学農学部生物生産学科

<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>

(国) 東京農工大学工学部生命工学科

<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>

(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程

<http://www.bio.kit.ac.jp/>

(国) 京都工芸繊維大学

<http://www.kit.ac.jp/>

(国) 信州大学繊維学部

<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>

(国) 名古屋大学農学部

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

(国) 北海道大学応用分子生物学講座

http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/l_in_bunshi_seibuts.html

(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室

<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>

(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻

http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html

(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース

<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department/bio/biofunc/index.html>

(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科

<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>

(独) 農業生物資源研究所

<http://www.nias.affrc.go.jp>

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所

http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html

(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所

http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html

群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)

http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U0000004&CONTENTS_ID=50545

群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)

http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U0000004&CONTENTS_ID=59241

京都府織物・機械金属振興センター

<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>

京都市産業技術研究所

<http://www.ktri.city.kyoto.lg.jp/>

【学 会】

日本シルク学会

<http://www.silk.or.jp/ssstj/>

日本蚕糸学会

<http://www.soc.nii.ac.jp/jsss2/>

日本野蚕学会

<http://jswsmo.appspot.com/index.html>

【博物館】

(財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>

群馬県立日本絹の里

<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>

愛媛県西予市立野村シルク博物館

<http://www.city.seiyo.ehime.jp/silk>

東京農工大学科学博物館

<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	48
(2) 養蚕農家数の推移	49
(3) 繭生産数量の推移	50
(4) 平成 24 年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	51
(5) 平成 24 年度蚕期別、都府県別繭生産数量	52
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移 (2010 ～ 2012 年)	53
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	54
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	55
(9) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)	56
(10) 品目別・二次製品輸入数量 (生糸量換算試算)	57
(11) 製糸工場の原料繭需給	58
(12) 製糸工場の操業状況	59
(13) 生糸在庫数量の内訳	60
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	61
(15) 生糸の原産国別輸入数量	62
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	63
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	64
(18) 絹織物生産数量	65
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	66
(20) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況	67

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	68
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	69
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数	70
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	71
(5) 中国のシルク類 (生糸・絹糸・絹織物) の輸出状況	72
(6) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	73
(7) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率	74
(8) 中国企業別従業員年間平均賃金及び対前年増減率	75
(9) 中国産業別従業員年平均賃金の推移	76
(10) 中国省別従業員年平均賃金 (2011 年)	77
(11) ブラジルの繭・生糸生産数量の推移	78
(12) ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移	79

－資料・国内－

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 年次 (暦年) Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台 数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
9年								
1997	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
10年								
1998	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
11年								
1999	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
12年								
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
13年								
2001	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
14年								
2002	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
15年								
2003	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
16年								
2004	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
17年								
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
18年								
2006	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
19年								
2007	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
20年								
2008	1,021	382	374	1.6	7	80	38.1	14,043
21年								
2009	915	327	357	1.2	7	60	33.6	11,472
22年								
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	11,612
23年								
2011	627	220	351	0.7	7	50	34.7	10,418
24年								
2012	571	202	354	0.5	7	50	33.3	9,974
前年対比 (%) 2012/11	91.1	91.8	100.9	71.4	100.0	100.0	96.0	95.7

資料 ・平成20年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・平成21年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(財)大日本蚕糸会調査である。

・平成21年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査である。

・平成20年以前の絹業は経済産業省調査であり、平成21年以降絹業は(社)日本絹人織機工業会調査である。

平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

・平成23年以降の養蚕業は(財)大日本蚕糸会調査である。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、平成14年以降はすべての製糸工場のもの
である。

Source: ・Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
・National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009)
・Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)
・The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008)
・Japan Silk & Rayon Weaver's Association (Silk Fabric, after 2009)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)

(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		627	562	358	531
2012		571	514	319	462
対前年比 2012/11 (%)		91.1	91.5	89.1	87.0

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、（財）大日本蚕糸会調査（2009年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).
The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

年次 Year	項目 Item	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
		年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕
		Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
		t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
1994		7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170
1995		5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172
1996		3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173
1997		2,516	982	678	857	398	174	153	167
1998		1,980	769	588	623	390	169	157	151
1999		1,496	596	391	509	371	166	144	155
2000		1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001		1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002		880	330	231	320	373	166	134	167
2003		775	313	210	253	374	167	140	144
2004		675	256	176	243	369	158	128	157
2005		626	243	165	218	396	171	156	162
2006		505	209	122	173	375	172	143	157
2007		433	175	110	148	371	166	152	150
2008		382	147	96	139	374	158	157	162
2009		327	124	85	118	357	152	131	156
2010		265	107	60	98	351	165	121	154
2011		220	95	49	76	351	169	136	143
2012		202	79	50	73	354	155	156	159
対前年比 2012/11 (%)		91.8	83.2	102.0	96.1	100.9	91.7	114.7	111.2
2012年 構成比 (%)		100.0	39.1	24.8	36.1				

資 料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、（財）大日本蚕糸会調査（2009年～）。

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2001）.

National Federation of Agricultural Co-operative Associations（2002～2004）.

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（2005～2008年）.

The Dainippon Silk Foundation（2009年～）

(4)平成24年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures in 2012

(単位:戸、%)

都府県名	春蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			年 間		
	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比
青森県	-	-	-	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
岩手県	16	16	100.0	19	16	84.2	22	17	77.3	23	21	91.3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	16	18	112.5	16	11	68.8	17	17	100.0	22	21	95.5
山形県	9	7	77.8	7	6	85.7	8	7	87.5	10	8	80.0
福島県	51	58	113.7	44	50	113.6	56	57	101.8	60	65	108.3
茨城県	25	25	100.0	23	23	100.0	21	21	100.0	28	28	100.0
栃木県	33	27	81.8	24	21	87.5	31	26	83.9	33	27	81.8
群馬県	239	197	82.4	139	113	81.3	227	189	83.3	261	217	83.1
埼玉県	53	48	90.6	39	29	74.4	51	43	84.3	57	49	86.0
千葉県	7	9	128.6	5	6	120.0	8	8	100.0	8	12	150.0
東京都	5	4	80.0	-	-	-	4	5	125.0	6	6	100.0
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	10	10	100.0	2	2	100.0	-	-	-	10	12	120.0
福井県	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
山梨県	24	23	95.8	9	8	88.9	20	18	90.0	26	24	92.3
長野県	23	16	69.6	17	16	94.1	21	14	66.7	26	22	84.6
岐阜県	16	17	106.3	-	-	-	17	14	82.4	18	17	94.4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	2	200.0	1	2	200.0	-	-	-	1	2	200.0
京都府	3	4	133.3	-	-	-	4	3	75.0	4	4	100.0
兵庫県	1	1	100.0	1	1	100.0	-	1	-	1	1	100.0
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	15	17	113.3	10	8	80.0	12	10	83.3	17	18	105.9
高知県	4	3	75.0	-	-	-	2	1	50.0	4	3	75.0
熊本県	5	7	140.0	-	-	-	3	5	166.7	5	7	140.0
宮崎県	2	2	100.0	-	2	-	2	1	50.0	2	2	100.0
鹿児島県	3	2	66.7	0	3	-	3	3	100.0	3	3	100.0
全国計	562	514	91.5	358	319	89.1	531	462	87.0	627	571	91.1

資料:(財)大日本蚕糸会調査

Source:The Dainippon Silk Foundation

(5) 平成24年度蚕期別、都府県別繭生産数量

Cocoon production by prefectures in 2012.

(単位 : kg、%)

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年間		
	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比
青森県	-	-	-	156.3	157.2	100.6%	119.3	131.8	110.5%	275.6	289.0	104.9%
岩手県	1,977.5	1,858.5	94.0%	2,318.9	2,968.4	128.0%	2,474.0	2,225.8	90.0%	6,770.4	7,052.7	104.2%
宮城県	2,127.1	2,305.8	108.4%	2,341.8	2,313.1	98.8%	2,248.6	2,633.0	117.1%	6,717.5	7,251.9	108.0%
山形県	1,315.2	1,200.6	91.3%	767.4	1,013.7	132.1%	1,638.3	1,603.9	97.9%	3,720.9	3,818.2	102.6%
福島県	11,519.5	10,681.1	92.7%	8,972.5	10,834.8	120.8%	13,617.0	14,384.8	105.6%	34,109.0	35,900.7	105.3%
茨城県	4,486.0	3,817.2	85.1%	2,323.2	2,478.9	106.7%	3,028.4	2,704.4	89.3%	9,837.6	9,000.5	91.5%
栃木県	11,488.4	7,663.1	66.7%	5,259.7	4,262.8	81.0%	9,370.2	9,605.6	102.5%	26,118.3	21,531.5	82.4%
群馬県	42,178.0	34,931.3	82.8%	18,729.3	17,645.8	94.2%	28,938.0	27,792.0	96.0%	89,845.3	80,374.1	89.5%
埼玉県	7,692.5	6,520.4	84.8%	3,308.7	2,593.8	78.4%	6,061.7	4,757.8	78.5%	17,062.9	13,872.0	81.3%
千葉県	1,168.6	1,213.3	103.8%	569.4	633.0	111.2%	1,113.4	944.4	84.8%	2,851.4	2,790.7	97.9%
東京都	386.0	235.1	60.9%	-	-	-	163.3	178.5	109.3%	549.3	413.6	75.3%
山梨県	3,665.7	2,978.8	81.3%	805.7	1,095.3	135.9%	2,233.2	1,769.2	79.2%	6,704.6	5,843.3	87.2%
長野県	2,714.3	2,129.2	78.4%	1,765.0	1,855.0	105.1%	2,440.2	1,974.1	80.9%	6,919.5	5,958.3	86.1%
新潟県	186.4	159.8	85.7%	54.3	-	-	-	-	-	240.7	159.8	66.4%
福井県	62.4	32.2	51.6%	21.2	18.9	89.2%	23.0	34.3	149.1%	106.6	85.4	80.1%
岐阜県	1,086.0	874.9	80.6%	-	-	-	614.1	605.0	98.5%	1,700.1	1,479.9	87.0%
愛知県	64.1	36.9	57.6%	-	62.0	-	-	-	-	64.1	98.9	154.3%
兵庫県	42.0	75.0	178.6%	35.0	38.2	109.1%	-	41.5	-	77.0	154.7	200.9%
京都府	111.4	102.5	92.0%	-	-	-	93.3	77.0	82.5%	204.7	179.5	87.7%
愛媛県	1,992.9	1,789.7	89.8%	1,350.5	1,551.1	114.9%	1,482.3	1,386.4	93.5%	4,825.7	4,727.2	98.0%
高知県	228.4	168.7	73.9%	-	-	-	86.7	15.3	17.6%	315.1	184.0	58.4%
熊本県	431.9	449.1	104.0%	-	-	-	91.8	347.9	379.0%	523.7	797.0	152.2%
宮崎県	115.2	120.4	104.5%	-	-	-	67.3	62.9%	93.4%	182.5	183.2	100.4%
鹿児島県	1.5	49.5	3300.0%	-	69.0	-	6.6	51.0	772.7%	8.1	169.5	2092.6%
全国計	95,041.0	79,393.1	83.5%	48,778.9	49,591.0	101.7%	75,910.7	73,331.6	96.6%	219,730.6	202,315.6	92.1%

資料：(財)大日本蚕糸会調査

Source: The Dainippon Silk Foundation

(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移 (2010~2012年)

Production by Sort of Silk-Worm Eggs

Item	Year	2010年 (平成22年)		2011年 (平成23年)		2012年 (平成24年)	
		箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦秋1号	× 鐘和1号	3,420	26.2	2,729	24.6	2,806	27.6
錦秋	× 鐘和	2,400	18.4	2,100	19.0	1,818	17.8
ぐん	× ま200	1,627	12.5	1,388	12.5	1,443	14.2
春嶺1号	× 鐘月1号	2,072	15.9	1,419	12.8	1,175	11.5
春嶺	× 鐘月	1,001	7.7	1,002	9.0	838	8.2
かいりょう	× あけぼの	487	3.7	435	3.9	416	4.1
松岡	× 姫	200	1.5	300	2.7	340	3.3
新小	× 石丸	355	2.7	396	3.6	324	3.2
芙蓉	× つくばね	300	2.3	180	1.6	143	1.4
上世	× 絹二	51	0.4	86	0.8		
緑紀	× 繭一	191	1.5	132	1.2	95	0.9
ブ	× ナボ	56	0.4	62	0.6	27	0.3
ラチ	× 東一	73	0.6	66	0.6	64	0.6
朝朝	× つくばね			50	0.5	50	0.5
ぐん	× ま黄	100	0.8	80	0.7	61	0.6
改良	× 小石	152	1.2	76	0.7	70	0.7
白繭	× 細1	87	0.7	78	0.7	33	0.3
小	× 石丸	115	0.9	77	0.7	93	0.9
蚕	× 太	75	0.6	72	0.6	67	0.7
蚕技	× 研11	26	0.2				
分離白1号	× 支106	53	0.4	52	0.5	36	0.4
白繭	× 細2	8	0.1				
新極	× 青	14	0.1	2	0.0		
玉	× 小	30	0.2	5	0.0	15	0.1
鷹	× 山	16	0.1	22	0.2	15	0.1
支21	× 四川3	25	0.2	20	0.2	5	0.0
又昔	× 中515	4	0.0	6	0.1	4	0.0
青熟	× 支21	5	0.0				
諸桂	× 紹	6	0.0	8	0.1	7	0.1
黄	× 白	4	0.0	1	0.0	1	0.0
青鬼	× 中515	5	0.0	15	0.1	33	0.3
い	× 中515	3	0.0	2	0.0	2	0.0
鐘ろ	× ど	1	0.0	1	0.0	1	0.0
鐘光	× 黄長	39	0.3	134	1.2	55	0.5
太平	× 青	35	0.3	30	0.3		
支108	× 青	7	0.1	13	0.1	28	0.3
は	× ぎ	5	0.0	7	0.1	7	0.1
秋光	× 竜			22	0.2	80	0.8
秋花	× 銀			5	0.0		
中515	× 又			3	0.0		
琉球	× 多			2	0.0	2	0.0
改良	× 黄			2	0.0	7	0.1
山東3	× C5					10	0.1
緑繭	× 2					7	0.1
合計		13,048	100.0	11,080	100.0	10,185	100.0
Total							

資料：(財)大日本蚕糸会調査。

Source：The Dainippon Silk Foundation.

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,928	8,261
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,826	7,586
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,409	7,186
2008	1,588	15,031	—	20,115	4,584	22,636	466	11,696	7,131
2009	1,152	12,085	—	13,766	4,055	16,647	388	9,028	6,271
2010	882	12,209	—	13,817	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	—	10,926	2,456	17,526	428	8,422	6,229
2012	506	9,972	—	10,222	2,301	16,180	320	7,218	5,545
生糸年度 Silk Year									
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2008	1,378	12,137	—	14,638	4,158	18,716	378	10,320	6,806
2009	1,029	12,857	—	14,383	3,661	17,481	366	8,639	6,182
2010	814	12,207	—	13,815	2,935	16,307	324	9,000	6,299
2011	654	8,541	—	9,907	2,348	15,540	433	7,725	5,945
2012 — 4	56	0	—	491	2,032	1,092	25	564	506
5	53	1,757	—	1,494	2,348	1,531	11	668	438
6	49	460	—	631	2,226	1,316	40	692	479
7	36	637	—	627	2,272	1,544	38	605	483
8	24	903	—	626	2,573	1,499	18	575	423
9	33	891	—	1,035	2,462	1,365	6	630	462
10	38	799	—	708	2,591	1,523	43	665	494
11	36	1,122	—	1,062	2,687	1,612	35	624	432
12	43	867	—	825	2,301	1,207	15	553	469
2013 — 1	38	958	—	1,014	2,283	1,744	11	598	355
2	32	906	—	818	2,403	1,138	13	517	409
3	36	1,148	—	1,034	2,553	1,337	44	466	525
4	36	0	—	567	2,022	1,552	16	610	445
5	35	1,314	—	969	2,402	1,629	23	692	482
6	36	925	—	976	2,387	1,175	21	599	479
7	28	611	—	702	2,324	1,326	66	688	461
8	19	758	—	976	2,218	1,288	61	515	416
9	26	566	—	743	2,067	918	68	456	403

資 料 : (A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局調査 (～2010.3)、中央蚕糸協会及び日本問屋協会 (2010.4～2012.3)、中央蚕糸協会 (2012.12～)。(B) 財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F) (G) (H) (I) 財務省関税局調査。

備 考 : 1. 国内引渡数量 (D) = { 前月在庫数量 + (A) + (B) } - { (C) + (E) }。
2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。
3. (D) と (E) は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source : (A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2010.3)、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～2012.11)、Central Raw Silk Association (2012.12～)。

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on date of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan.1996 until Mar.2008, excluding bonded silk.
(F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Domestic deliveries (D) = { Stock at end of the previous month + (A) + (B) } - { (C) + (E) }。
2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item 年 月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					
	計	18デニール以下	21デニール	27デニール	31デニール	その他
暦 年 Calendar Year	Total	17/19or 17/19 finer	20/22	26/28	30/32	Others
2005	2,508	8	337	834	799	527
2006	1,956	4	240	531	653	523
2007	1,747	5	259	495	514	474
2008	1,588	4	289	421	368	503
2009	1,152	1	243	392	251	262
2010	882	1	179	316	86	300
2011	731	1	188	249	89	204
2012	424	—	122	159	46	97
生糸年度						
Silk Year						
2005	2,024	6	261	510	726	518
2006	1,794	4	269	480	562	475
2007	1,762	5	276	443	495	537
2008	1,378	1	291	447	280	360
2009	1,029	—	205	358	208	242
2010	814	1	176	273	55	309
2011	652	1	164	239	117	134
2012 - 2	47	—	15	10	17	5
3	48	—	6	33	3	6
4	56	—	17	19	11	9
5	53	—	23	8	13	9
6	49	—	15	29	0	5
7	36	—	11	10	4	11
8	24	—	8	12	0	4
9	33	—	5	21	0	7
10	39	—	14	14	4	7
11	36	—	18	16	0	2
12	43	—	10	21	5	7
2013 - 1	38	—	16	3	10	9
2	32	—	6	12	5	9
3	36	—	10	15	3	8
4	36	—	7	13	6	10
5	35	—	8	9	9	9
6	36	—	9	13	0	14
7	28	—	8	5	1	14
8	19	—	7	1	0	11
9	26	—	13	1	1	11

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会(2010.4～)。

備 考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3)。Central Raw Silk Association (2010.4～)。

Remarks：Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位 : 千俵)
(Unit : 1,000Bales of
60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
対前年比 2012/11 (%)	101	109	100	99	111	89	100	100	102	94	—	—	93	100	103	98

資 料 : 蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、(社)日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source : "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics" (arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)

After 2000, estimated by Japan Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production, Bureau MAFF.

(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）

Breakdown of Silk Second Products Imports(Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit:1,000 Bales of 60kg)

項目 Item		暦年 Calendar Year	2007	2008	2009	2010	2011	2012	前年比% y/y	構成比% ratio
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments		3.9	2.5	1.8	2.8	2.2	2.4	109.1	1.7
	女子用外衣類 Women's upper garments		50.0	40.2	37.1	38.4	51.2	50.0	97.7	35.3
	うちブラウス Blouse of the inside		3.0	3.4	2.8	2.4	2.0	2.2	110.0	1.6
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth		2.2	1.6	1.1	1.0	1.4	1.5	107.1	1.1
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth		15.0	16.3	13.5	13.9	15.5	15.5	100.0	11.0
	ハンカチ Handkerchief		0.5	0.5	0.4	0.3	0.5	0.3	60.0	0.2
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves		3.0	2.9	2.5	2.2	2.2	2.3	104.5	1.6
	ネクタイ類 Ties		21.6	20.8	18.2	18.1	14.5	12.8	88.3	9.0
	メリヤス、クロセス編物 Knit.kurose knitting		21.2	19.8	15.9	17.9	18.6	22.7	122.0	16.0
その他の洋装類 Other western clothes			25.4	23.7	22.0	21.0	20.2	19.1	94.6	13.5
洋装類計 Western clothes subtotal			143.0	128.3	112.4	115.6	126.3	126.6	100.2	89.4
和装類計 Japanese clothes subtotal			15.5	14.7	15.9	14.5	12.5	11.8	94.4	8.3
うち絹製の帯小物等 Silk obi accessories of the inside			12.9	12.1	13.9	12.5	10.1	10.1	100.0	7.1
その他 Others			2.5	2.4	1.9	2.9	3.1	3.2	103.2	2.3
合計 Total			161.0	145.4	130.2	133.0	141.9	141.6	99.8	100.0

資料：財務省「日本貿易月報」により（社）日本生糸問屋協会で作成したものである。

注）：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source:The Customs Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"

(arranged by Raw Silk Dealer's Association)

Note :Total may not added up due to round off.

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2005		806	830	589
2006		600	645	541
2007		548	581	505
2008		393	518	378
2009		308	385	313
2010		240	299	263
2011		189	162	237
2012		181	162	183
生糸年度 Silk Year				
2005		837	693	390
2006		562	599	349
2007		502	583	266
2008		406	452	224
2009		324	337	209
2010		260	281	188
2011		202	224	144
2012 —	4	0	19	168
	5	9	18	144
	6	37	16	165
	7	24	12	177
	8	39	7	201
	9	3	11	193
	10	56	15	234
	11	4	11	227
	12	9	53	183
2013 —	1	0	11	172
	2	1	10	163
	3	0	13	150
	4	0	14	136
	5	2	12	126
	6	21	11	136
	7	39	10	164
	8	15	7	172
	9	8	8	172

資 料：農林水産省生産局調査（～2010. 3）。中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010. 4～2012. 11）。
中央蚕糸協会（2012. 12～）。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010. 3）.
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010. 4～2012. 11）.
Central Raw Silk Association（2012. 12～）.

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

項目 Item 年 月 Year & Month	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
		運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year						
2005	10	203	126	62	269	111
2006	9	114	94	82	266	103
2007	8	112	93	83	266	100
2008	7	112	90	80	266	90
2009	7	118	71	60	259	82
2010	7	118	58	49	247	73
2011	7	110	57	52	63	65
2012	7	110	39	35	243	56
2011 — 10	7	110	57	52	21	66
11	7	110	55	50	21	66
12	7	110	57	52	21	65
2012 — 1	7	110	51	46	18	63
2	7	110	48	44	19	63
3	7	110	47	43	19	63
4	7	110	53	48	22	57
5	7	110	60	55	21	56
6	7	110	50	45	22	56
7	7	110	38	35	14	57
8	7	110	24	22	20	52
9	7	110	29	26	21	52
10	7	110	40	36	23	56
11	7	110	41	37	22	58
12	7	110	39	35	22	56
2013 — 1	7	110	41	37	20	55
2	7	110	36	33	21	55
3	7	110	35	32	22	55
4	7	110	36	33	22	58
5	7	110	33	30	22	60
6	9	110	34	31	18	67
7	9	110	25	23	23	61
8	7	110	16	15	20	53
9	7	110	33	30	14	59

資 料：農林水産省生産局調査（～2010. 3）。中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010. 4～2012. 11）。
中央蚕糸協会（2012. 12～）

備 考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。
2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。
3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010. 3）.
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010. 4～）.
Central Raw Silk Association（2012. 12～）

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.
2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.
3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item 年月 Year & Month	総計 Grand Total	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場 売買業者 Dealers	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers	受 入 数 量 Accepts	引 渡 数 量 Deliveries	在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year									
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
2009	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011	2,456	2,456	288	0	1,651	517			
生糸年度 (6～5) Silk Year									
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,205	4,205	376	15	3,266	515			
2009	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
2010	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
2011	2,348	2,348	304	0	1,481	583			
2012 — 1	2,691	2,691	277	0	1,825	586			
2	2,458	2,458	271	0	1,694	493			
3	2,467	2,467	273	0	1,696	498			
4	2,032	2,032	284	0	1,380	368			
5	2,348	2,348	304	0	1,481	563			
6	2,226	2,226	299	0	1,344	538			
7	2,272	2,272	283	0	1,474	515			
8	2,573	2,573	280	0	1,656	637			
9	2,462	2,462	267	0	1,698	497			
10	2,591	2,591	263	0	1,764	564			
11	2,687	2,687	248	0	1,842	597			
12	2,301	2,301	245	0	2,056				
1	2,283	2,283	257	0	2,026				
2	2,403	2,403	264	0	2,139				
3	2,553	2,553	257	0	2,296				
4	2,022	2,022	258	0	1,764				
5	2,402	2,402	251	0	2,151				
6	2,387	2,387	258	0	2,129				
7	2,324	2,324	239	0	2,085				
8	2,218	2,218	231	0	1,987				
9	2,067	2,067	218	0	1,849				

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)。中央蚕糸協会(2012.12～)

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).

Central Raw Silk Association(2012.12～).

(14) 蚕糸関係品目別輸入状況 (平成20年～25年8月)

Breakdown of Silk-Related Products Imports (2008～Aug. 2013)

	単位 Unit	平成25年 (2013)		平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	平成20年 (2008)	24年/23年 2012/11 (%)
		(8月) Aug.	(累計) Accumulated Total						
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bale s of 60kg	758	6, 620	10, 032	9, 323	12, 209	12, 085	15, 242	107. 6
絹糸 Silk Yarn	俵 Bale s of 60kg	1, 288	11, 188	16, 179	17, 526	16, 306	16, 647	22, 636	92. 3
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bale s of 60kg	6	146	82	—	82	149	317	—
繭 Cocoon	kg	200	1, 200	6, 250	4, 050	13, 158	9, 800	4, 000	154. 3
具 綿 Floss Silk	kg	—	—	—	—	—	—	29, 071	—
ペ ニ ー Peigne	kg	—	—	—	—	—	35, 331	2, 770	—
く ず 繭 Waste Cocoon	kg	1, 950	11, 317	6, 457	10, 885	9, 395	33, 450	23, 770	59. 3
絹ノイル Silk Noil	kg	—	—	—	—	—	—	202, 220	—
その他の 絹くず Other Silk Waste	kg	3, 939	60, 998	107, 023	98, 732	134, 852	103, 122	193, 125	108. 4
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	5, 889	72, 315	107, 022	109, 617	144, 247	171, 903	450, 956	97. 6
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	27, 959	291, 705	482, 523	394, 920	451, 219	335, 710	526, 662	122. 2
絹紡細糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	9, 140	111, 660	140, 188	118, 404	104, 374	97, 554	143, 585	118. 4
絹織物 Silk Fabrics	m ²	514, 678	4, 683, 248	7, 403, 581	8, 545, 903	9, 029, 003	8, 996, 010	11, 540, 335	86. 6

資料：財務省関税局

備考：絹ノイルと真綿の統計は、平成21年1月より廃止された。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	国 名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
		Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
暦 年 Calendar Year							
2008		15,242 (137)	10,969 (102)	4,152 (35)	-	122	-
2009		12,085 (72)	8,170 (51)	3,855 (21)	-	41	-
2010		12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	-	32	-
2011		9,323 (63)	7,170 (32)	2,136 (30)	-	5	-
2012		10,032 (49)	8,628 (36)	1,403 (13)	-	-	-
生糸年度 Silk Year							
2008		12,138 (103)	8,572 (89)	3,435 (14)	11	122	-
2009		12,857 (66)	8,787 (38)	3,896 (28)	11	73	-
2010		12,172 (79)	9,062 (65)	3,068 (14)	1	39	-
2011		8,602 (53)	6,846 (21)	1,754 (32)	1	39	-
2011 - 11		550	325	225	-	-	-
12		717	697	20	-	3	-
2012 - 1		1,185	1,149	36	-	-	-
2		481 (10)	289 (10)	193	-	-	-
3		931 (6)	870 (6)	61	-	-	-
4		0	0	0	-	-	-
5		1,757 (5)	1,508 (5)	249	-	-	-
6		460	360	99	-	-	-
7		637 (6)	526	110 (6)	-	-	-
8		903 (5)	817	81 (5)	-	-	-
9		891	750	141	-	-	-
10		799 (7)	660 (5)	139 (2)	-	-	-
11		1,122 (5)	963 (5)	159	-	-	-
12		867 (5)	736 (5)	130	-	-	-
2013 - 1		958 (10)	918 (10)	40	-	-	-
2		906 (9)	698 (7)	207 (2)	-	-	-
3		1,148 (17)	1,083 (17)	65	-	-	-
4		-	-	-	-	-	-
5		1,314 (25)	1,031 (15)	278 (10)	5	-	-
6		925	841	84	-	-	-
7		611 (2)	539	72 (2)	-	-	-
8		758 (15)	577	176 (10)	5 (5)	-	-
9		566	546	20	-	-	-

資 料 : 財務省関税局調査

備 考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年月 Year&Month	国名 Country	計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year									
2008		22,636	143	12,513	6,865	12	—	3,204	12
2009		16,647	—	9,656	5,096	12	—	1,742	137
2010		16,306	—	9,675	4,161	16	—	1,716	205
2011		17,526	—	10,384	5,129	7	—	503	212
2012		16,179	—	9,924	4,908	15	—	1,109	223
生糸年度 Silk Year									
2008		18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2009		17,481	—	9,940	5,065	7	—	1,953	186
2010		12,293	—	7,607	3,595	8	—	945	140
2011		15,540	—	9,060	4,364	44	—	1,713	303
2011 —	10	1,165	—	542	309	—	—	243	70
	11	1,202	—	672	297	—	—	232	—
	12	1,001	—	692	219	—	—	28	61
2012 —	1	1,590	—	1,075	353	—	—	80	80
	2	758	—	378	216	1	—	162	—
	3	1,143	—	747	281	2	—	113	—
	4	1,092	—	662	326	—	—	103	—
	5	1,531	—	1,001	328	—	—	124	78
	6	1,316	—	727	514	1	—	75	—
	7	1,554	—	907	488	—	—	97	53
	8	1,499	—	897	561	—	—	41	—
	9	1,365	—	773	506	1	—	73	12
	10	1,523	—	953	456	3	—	112	—
	11	1,612	—	982	568	5	—	56	—
	12	1,207	—	824	310	1	—	71	—
2013 —	1	1,744	—	1,080	612	—	—	52	—
	2	1,138	—	616	429	—	—	93	—
	3	1,337	—	940	342	5	—	50	—
	4	1,552	—	880	574	—	—	95	3
	5	1,629	—	1,012	545	1	—	71	—
	6	1,175	—	660	446	3	—	67	—
	7	1,326	—	729	555	4	—	38	—
	8	1,288	—	750	419	1	—	118	—
	9	918	—	489	413	1	—	15	—

資 料：財務省関税局調査。

備 考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵, K g / 円

項 目 Item	輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
年 月 Year & Month										
暦 年 Calendar Year										
1999	27,446	2,439	14,602	3,026	11,729	2,979	6,069	3,706	2,886	3,277
2000	30,147	2,655	11,772	3,340	13,769	2,789	5,712	3,543	6,255	3,168
2001	22,018	2,824	8,339	3,713	10,303	3,149	5,130	3,790	6,607	3,688
2002	24,521	2,241	7,909	3,192	13,256	2,556	6,097	3,299	7,122	3,053
2003	24,074	1,988	7,260	2,436	17,408	2,182	6,223	2,740	7,167	2,499
2004	18,016	2,435	7,387	3,631	13,280	2,576	7,444	3,038	7,076	2,624
2005	17,327	2,638	5,308	2,903	18,977	3,105	5,767	3,301	7,550	2,933
2006	14,739	3,736	6,181	4,188	17,019	4,172	5,675	4,543	8,706	3,643
2007	8,793	3,321	3,846	3,778	11,726	3,586	2,930	4,305	4,744	3,972
2008	12,190	3,104	4,153	3,490	12,627	3,361	3,204	3,989	6,865	3,220
2009	8,120	2,740	3,965	3,059	9,656	2,840	1,742	3,611	5,116	3,034
2010	8,411	3,667	3,706	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,606	3,411
2011	7,170	4,469	2,136	5,492	10,384	4,707	1,722	5,398	5,429	4,402
2012	8,628	4,289	1,398	5,277	9,926	4,383	1,119	6,032	4,908	4,494
2011 - 10	491	4,174	272	5,310	542	4,735	283	5,833	309	4,655
11	325	4,199	225	5,209	673	4,432	232	6,027	297	4,681
12	697	4,469	20	5,492	692	4,309	28	6,313	219	4,560
2012 - 1	1,149	4,180	36	5,260	1,075	4,131	92	5,958	353	4,345
2	289	4,024	193	5,297	378	4,137	162	5,560	216	4,264
3	870	4,296	61	5,241	747	4,323	113	6,187	281	4,731
4	-	-	-	-	662	4,372	103	6,065	326	4,887
5	1,508	4,311	249	5,220	1,001	4,304	124	6,048	328	4,625
6	360	4,347	99	5,005	727	4,370	75	5,876	515	4,703
7	526	4,220	110	5,013	907	4,502	97	5,930	488	4,591
8	817	4,130	81	5,151	897	4,433	41	5,850	561	4,402
9	750	4,212	141	5,353	773	4,315	73	6,167	506	4,320
10	660	4,151	139	5,333	953	4,295	112	6,224	456	4,435
11	963	4,405	159	5,417	982	4,514	56	6,347	568	4,130
12	736	4,758	130	5,571	824	4,815	71	6,599	310	4,755
2013 - 1	918	5,103	40	6,180	1,080	5,172	52	7,079	612	5,084
2	698	6,029	207	6,284	616	5,574	93	7,318	429	5,362
3	1,083	5,733	65	6,749	940	5,959	50	7,806	342	5,789
4	-	-	-	-	880	6,106	95	8,026	574	5,974
5	1,031	6,132	278	7,271	1,012	6,311	71	8,405	545	6,105
6	841	6,237	84	7,517	660	6,461	67	8,602	446	6,505
7	539	5,855	72	7,850	729	6,285	38	8,783	555	6,362
8	577	6,223	176	7,869	750	6,469	118	8,807	419	6,392
9	546	6,250	20	8,035	489	6,468	15	8,853	413	6,485

資 料：財務省調査。通関統計による、単価はC I F 価格である。

Source：The customs Bureau, Ministry of Finance

Remarks：A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位 : 1,000m²)
(Unit : 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先 練 (先染) Dyed Yarn	
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542
2008	14,043	4,887	2,061	1,419	1,407	6,929	4,263	2,666	2,228
2009	11,472	4,015	1,732	1,193	1,090	5,663	3,449	2,214	1,794
2010	11,612	3,844	1,510	1,254	1,080	6,212	4,029	2,183	1,556
2011	10,418	4,105	2,615	198	1,292	4,338	1,615	2,719	1,979
2012	9,974	4,548	2,482	200	1,875	3,172	1,776	1,395	2,254
2012 — 6	887	406	221	18	167	282	158	124	200
7	866	395	216	17	163	275	154	121	196
8	743	339	185	15	140	236	132	104	168
9	719	328	179	14	135	229	128	101	162
10	880	401	219	18	165	280	157	123	199
11	880	401	218	18	165	280	157	123	199
12	849	387	211	17	160	270	151	119	192
2013 — 1	828	386	209	16	161	250	122	127	192
2	838	390	212	16	163	253	123	129	189
3	852	397	215	16	165	257	125	131	192
4	890	415	225	17	173	269	131	137	201
5	852	397	215	16	165	257	125	131	192
6	879	410	222	17	171	266	129	135	199
7	907	423	229	17	176	274	133	140	205
8	721	336	182	14	140	218	106	111	167
9	752	350	190	14	146	227	110	116	174
10	893	416	226	17	173	270	131	138	207

資 料 : (社) 日本絹人織織物工業会。

備 考 : 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver' s Association.

Remarks : Spun and mixed fabrics included .

Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量		丹 後 Tango		長 浜 Nagahama		西 陣 Nishijin	
	Silk Fabrics Production		(白生地) (White Fabrics)		(白生地) (White Fabrics)		(帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2005	19,821	90.3	1,058,571	94.5	170,061	92.6	691,780	88.7
2006	18,526	93.5	912,027	86.2	132,448	78.1	598,040	86.4
2007	15,479	83.6	712,560	78.1	97,204	73.0	977,719	163.5
2008	13,914	89.9	656,919	92.2	88,401	90.8	867,490	88.7
2009	9,930	71.4	503,365	76.6	73,681	84.0	746,538	86.1
2010	11,661	117.4	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	10,319	88.5	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	9,944	96.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2011 — 7	834	82.2	43,509	98.5	5,399	72.9	53,800	84.2
8	779	86.5	34,386	86.3	6,064	82.6	49,057	81.2
9	788	81.9	38,639	82.6	5,394	74.0	61,501	94.7
10	821	82.5	39,116	84.3	5,589	92.5	51,586	66.1
11	879	87.5	37,346	82.5	5,929	84.0	62,567	90.8
12	889	92.0	39,833	88.5	5,376	90.3	52,433	77.0
2012 — 1	801	98.4	29,890	91.3	4,787	87.8	51,823	83.7
2	818	93.7	38,352	90.5	5,632	93.4	65,046	107.4
3	832	91.9	37,766	90.4	5,306	76.9	62,163	110.8
4	832	83.8	42,234	94.3	5,614	86.3	57,688	96.1
5	866	103.1	33,283	83.8	6,109	100.2	56,873	90.9
6	887	97.4	43,214	103.4	5,335	87.9	47,616	78.3
7	866	103.8	39,999	91.9	5,967	110.5	47,268	87.9
8	743	95.4	31,797	92.5	4,052	67.0	45,892	93.5
9	719	91.2	39,579	102.4	5,051	93.6	44,900	73.0
10	880	107.2	36,734	93.9	5,159	92.3	55,813	108.2
11	880	100.5	38,312	102.5	4,994	84.2	56,530	101.3
12	849	95.5	40,343	101.3	4,904	91.2	54,067	103.1
2013 — 1	828	103.3	25,024	83.7	4,453	93.0	54,617	105.4
2	838	102.4	41,930	109.3	4,632	82.2	52,253	80.3
3	852	102.4	37,110	98.3	4,306	81.2	55,771	89.7
4	890	107.0	38,904	92.1	5,498	97.9	61,790	107.1
5	852	98.4	34,916	104.9	4,794	78.5	59,581	104.8
6	879	99.1	40,887	94.6	4,694	88.0	49,312	103.6
7	907	104.7	36,717	91.8	5,023	84.1	46,098	97.5
8	721	97.0	30,707	96.6	3,564	81.9	43,162	94.1
9	752	104.6	39,079	98.7	4,974	100.4	45,834	102.1
10	893	101.5	32,162	87.6	4,960	82.8	53,507	95.9

資 料：絹織物生産数量は(社)日本絹人織織物工業会調査。主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備 考：2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan. 2006, sash livings are included in sash production.

(20) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing&footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts &sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)
年月 Year & Month												
暦年Calendar Year												
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2009	291,737	▲ 0.2	11,994	▲ 3.3	261	▲ 12.0	4,622	▲ 4.2	2,468	▲ 4.0	1,098	▲ 2.9
2010	290,244	0.3	11,499	▲ 2.9	245	▲ 6.0	4,459	▲ 2.3	2,353	▲ 3.8	1,069	▲ 1.0
2011	282,966	▲ 2.2	11,382	▲ 0.7	270	9.3	4,273	▲ 4.2	2,403	2.1	1,100	3.7
2012	286,169	1.1	11,453	0.6	246	▲ 9.4	4,305	0.8	2,410	▲ 0.4	1,087	▲ 0.7
2012 - 1	283,124	▲ 2.3	13,148	4.3	271	125.6	5,496	0.9	2,675	5.5	1,132	▲ 0.2
2	267,855	2.3	8,829	0.5	380	34.9	3,713	▲ 3.3	1,543	4.5	733	0.4
3	303,841	3.4	12,167	10.2	148	▲ 67.1	5,512	10.2	2,065	13.2	878	14.9
4	301,948	2.6	11,687	4.3	95	2.9	4,399	5.4	2,434	1.1	934	5.0
5	287,911	4.0	11,592	▲ 2.5	124	150.1	3,801	▲ 7.2	2,771	▲ 0.7	1,072	▲ 6.6
6	269,810	1.6	11,208	▲ 1.4	169	49.2	3,627	0.4	2,760	▲ 5.4	1,169	▲ 4.5
7	283,295	1.7	11,920	▲ 1.5	239	▲ 15.4	3,923	▲ 3.7	3,161	0.7	1,286	▲ 2.8
8	286,036	1.8	8,627	▲ 3.0	381	▲ 17.1	2,685	0.0	2,062	0.5	960	1.9
9	266,705	▲ 0.9	8,436	▲ 2.9	188	▲ 15.8	2,900	▲ 1.9	1,876	▲ 1.0	837	▲ 2.5
10	284,238	▲ 0.1	12,195	▲ 6.7	244	▲ 61.4	4,637	▲ 7.5	2,559	▲ 8.2	1,129	▲ 5.6
11	273,772	0.2	13,814	4.8	545	10.3	5,394	7.8	2,541	▲ 3.8	1,382	8.5
12	325,492	▲ 0.7	13,813	0.5	172	215.0	5,571	4.0	2,475	▲ 2.7	1,526	▲ 6.9
2013 - 1	288,934	2.4	12,301	▲ 6.7	28	▲ 89.8	5,208	▲ 6.0	2,592	▲ 3.3	1,110	▲ 1.4
2	268,099	0.8	9,117	3.8	194	▲ 49.2	4,053	9.5	1,647	7.6	738	0.8
3	316,166	5.2	13,271	9.3	138	▲ 7.3	6,177	11.2	2,357	16.1	848	▲ 3.2
4	304,382	1.5	11,762	0.6	134	41.0	4,557	3.5	2,512	2.8	868	▲ 7.5
5	282,366	▲ 1.6	12,400	6.9	231	87.0	4,077	7.3	2,956	6.4	1,142	6.1
6	269,418	▲ 0.4	12,139	8.1	419	148.6	4,088	12.4	2,933	6.0	1,130	▲ 4.1
7	286,098	0.1	11,876	▲ 1.2	194	▲ 18.2	4,091	3.0	3,174	▲ 0.8	1,224	▲ 5.5
8	284,646	▲ 1.6	8,829	1.5	71	81.3	2,857	5.3	2,193	4.5	984	1.9
9	280,692	3.7	9,180	8.0	182	▲ 2.6	3,457	18.3	1,936	1.5	807	▲ 4.4
10	290,676	0.9	12,483	1.8	246	1.2	5,123	9.8	2,595	▲ 0.2	1,043	▲ 8.2

資料：総務省統計局「家計調査報告」。2人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考：「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4項目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source: Family Income and Expenditure Survey by Statistics Bureau, MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks: Clothing&footwear includes Japanese clothing, clothing, shirts&sweaters and other items.

Year value is mean of the each month

－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2005年	2006年	2007年
		トン	トン	トン
日本	Japan	626	505	433
中国	China	621,461	739,715	779,261
インド	India	126,261	135,462	132,038
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	7,146	8,051	8,617
タイ	Thailand	10,650	10,100	1,785
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	2,543	2,104	1,665
トルコ	Turkey	170	350	130
インドネシア	Indonesia	691	339	470
ブルガリア	Bulgaria	42	65	55
ギリシャ	Greece	70	100	104
フィリピン	Philippines	14.4	16	9
シリア	Syria	5.5	3	2.5
主要国の計	Total	810,680	937,810	965,570

区 分		2008年	2009年	2010年
		トン	トン	トン
日本	Japan	382	327	265
中国	China	683,387	575,299	617,915
インド	India	124,834	131,661	131,924
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	6,266	4,835	4,439
タイ	Thailand	7,700	4,655	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	25,760	25,896	20,000
イラン	Iran	1,185	1,185	1,185
トルコ	Turkey	126	140	140
インドネシア	Indonesia	273	133	161
ブルガリア	Bulgaria	48	51	75
ギリシャ	Greece	100	100	100
フィリピン	Philippines	6	4	4
シリア	Syria	3	4	4
主要国の計	Total	871,070	765,290	801,867

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2005年		2006年		2007年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	151	2,500	119	2,000	105	1,800
中国	China	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000	108,420	1,807,000
インド	India	15,445	257,400	16,525	275,400	16,245	270,800
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,285	21,400	1,387	23,100	1,220	20,300
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,080	18,000	760	12,700
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	395	6,600	324	5,400	253	4,200
トルコ	Turkey	30	500	25	400	20	300
インドネシア	Indonesia	91	1,500	47	800	65	1,100
ブルガリア	Bulgaria	6	100	5	100	7.5	100
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1.1	0	1.6	0	1	0
シリア	Syria	0.7	0	0.5	0	0	0
主要国の計	Total	109,940	1,832,300	115,973	1,933,100	130,451	2,174,200

区 分		2008年		2009年		2010年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	95	1,600	69	1,200	53	900
中国	China	98,620	1,643,700	92,455	1,540,900	95,778	1,596,300
インド	India	15,610	260,200	16,322	272,000	16,360	272,700
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,177	19,600	811	13,500	770	12,800
タイ	Thailand	1,100	18,300	665	11,100	665	11,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,417	23,600	2,447	40,800	2,100	35,000
イラン	Iran	180	3,000	180	3,000	180	3,000
トルコ	Turkey	15	300	20	300	20	300
インドネシア	Indonesia	37	600	19	300	20	300
ブルガリア	Bulgaria	7.5	100	6.3	100	9.4	160
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	1	0	1	0
シリア	Syria	0.4	0	0.6	0	0.6	0
主要国の計	Total	120,514	2,008,600	115,250	1,920,800	118,211	1,970,160

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSED)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSED).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(3)中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数

Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

省 Province	区分	家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%)(MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%)(MT, %)		
		2009	2010	対前年比 2010/09	2009	2010	対前年比 2010/09
山 西	Shanxi	4,046	5,894	146	266	182	68
河 北	Hebei	1,200	1,500	125	-	-	-
江 蘇	Jiangsu	73,175	77,399	106	17,800	16,000	90
浙 江	Zhejiang	45,600	57,000	125	15,000	14,436	96
安 徽	Anhui	24,800	25,000	101	5,200	6,438	124
江 西	Jiangxi	7,602	7,000	92	2,900	3,591	124
山 東	Shandong	23,900	22,000	92	5,800	7,510	129
河 南	Henan	10,101	7,500	74	2,100	103	5
湖 北	Hubei	17,150	10,600	62	555	446	80
湖 南	Hunan	3,182	2,452	77	104	197	189
広 東	Guangdong	53,321	39,300	74	1,722	1,711	99
広 西	Guangxi	172,900	214,000	124	16,237	18,164	112
重 慶	Chongqing	17,311	17,200	99	4,200	4,000	95
四 川	Sichuan	70,000	71,000	101	14,900	14,900	100
貴 州	Guizhou	2,751	1,460	53	105	134	128
雲 南	Yunnan	30,230	40,000	132	2,237	2,138	96
陝 西	Shaanxi	17,200	17,600	102	3,263	3,664	112
甘 肅	Gansu	253	304	120	-	-	-
寧 夏	Ningxia	126	126	100	-	-	-
新 疆	Xinjiang	450	580	129	-	-	-
内 蒙 古	Inner Mongolia	-	-	-	66	64	97
合 計	Total	575,299	617,915	107	92,455	95,778	104

製糸工場数（件） Number of Filatures		
2006	2008	前年比 2008/06
702	682	97

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移

Domesticated Cocoon Production in China (1998年～2009年)

(単位：万トン) (Unit: 10,000ton)

地域	Area	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	前年比 10/09(%)
北 京	Beijing													
天 津	Tianjin													
河 北	Hebei	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	0.2	125
山 西	Shanxi	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	146
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai						0.0	0.0						
江 蘇	Jiangsu	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	10.4	9.5	7.3	7.7	106
浙 江	Zhejiang	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	8.4	6.4	4.6	5.7	125
安 徽	Anhui	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	3.8	3.3	2.5	2.5	101
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.8	0.7	92
山 東	Shandong	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	4.0	3.5	2.4	2.2	92
河 南	Henan	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	1.4	1.2	1.0	0.8	74
湖 北	Hubei	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	1.6	2.1	1.7	1.1	62
湖 南	Hunan			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	77
広 東	Guangdong	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	8.1	7.1	5.3	3.9	74
広 西	Guangxi	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	20.5	17.1	17.3	21.4	124
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	2.5	2.2	1.7	1.7	99
四 川	Sichuan	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	8.4	6.9	7.0	7.1	101
貴 州	Guizhou	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	0.1	53
雲 南	Yunnan	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	3.7	4.0	3.0	4.0	132
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	2.5	2.4	1.7	1.8	102
甘 肅	Gansu						0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia						0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
合 計	Total	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	77.9	68.3	57.5	61.8	107

資料：2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5) 中国のシルク類(生糸、絹糸、絹織物)の輸出状況

Silk Exports of China
(2012年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 インド	India	4,505,837	109.52	210,390	100.64
2 ベトナム	Vietnam	783,904	125.53	38,084	124.02
3 ルーマニア	Romania	729,411	100.11	35,729	93.89
4 日本	Japan	482,249	119.68	25,830	114.45
5 韓国	South Korea	412,421	88.43	20,393	83.14
6 イタリア	Italy	309,833	99.30	15,627	90.46
7 バングラデシュ	Bangladesh	105,212	119.12	4,869	111.62
8 ミャンマー	Myanmar	99,217	120.59	4,827	114.80
9 ブラジル	Brazil	41,321	93.39	2,253	95.72
10 ブルガリア	Bulgaria	39,232	250.59	2,008	237.55
11 その他	Others	165,357	68.19	8,442	66.12
合計	Total	7,673,994	107.75	368,452	100.47

Silk Exports of China
(2013年1月～10月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 インド	India	2,660,830	65.70	143,786	76.82
2 ルーマニア	Romania	814,285	149.20	45,826	173.49
3 ベトナム	Vietnam	741,593	120.35	41,115	140.81
4 日本	Japan	372,595	94.91	22,669	109.08
5 イタリア	Italy	308,472	120.19	18,105	141.06
6 韓国	South Korea	261,284	76.45	14,746	88.45
7 ブラジル	Brazil	86,068	256.69	5,250	290.48
8 バングラデシュ	Bangladesh	79,761	81.93	4,419	99.90
9 ミャンマー	Myanmar	63,913	78.89	3,576	92.61
10 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	44,819	361.94	2,420	431.15
11 その他	Others	103,757	69.45	5,980	80.24
合計	Total	5,537,377	84.20	307,892	98.94

相手国	Country	絹糸 Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 日本	Japan	655,083	100.22	35,489	94.83
2 インド	India	399,229	45.92	19,203	43.04
3 イタリア	Italy	370,973	69.85	19,699	64.49
4 ドイツ	Germany	256,806	128.67	13,932	135.84
5 パキスタン	Pakistan	249,628	92.67	12,357	88.13
6 韓国	South Korea	188,559	103.41	9,625	98.64
7 タイ	Thailand	108,350	79.70	5,628	71.47
8 インドネシア	Indonesia	75,921	80.69	3,737	76.81
9 ベトナム	Vietnam	47,662	143.83	2,312	135.88
10 香港	Hong Kong	27,214	205.14	1,036	197.85
11 その他	Others	196,543	97.95	9,827	94.46
合計	Total	2,575,968	80.94	133,927	78.30

相手国	Country	絹糸 Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 日本	Japan	537,248	98.47	32,589	111.55
2 イタリア	Italy	359,764	113.28	22,162	132.44
3 インド	India	278,132	88.46	15,541	105.57
4 ドイツ	Germany	192,137	87.01	12,466	105.43
5 パキスタン	Pakistan	125,583	60.02	7,333	71.80
6 韓国	South Korea	120,764	80.68	6,947	93.28
7 タイ	Thailand	89,035	98.90	5,402	117.31
8 インドネシア	Indonesia	43,413	64.21	2,455	74.61
9 リビア	Libya	27,910	152.50	2,320	171.10
10 ベトナム	Vietnam	27,091	66.77	1,468	75.47
11 その他	Others	177,669	94.55	10,255	85.20
合計	Total	1,978,746	92.39	118,937	108.04

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 パキスタン	Pakistan	60,795,118	123.71	221,429	136.62
2 イタリア	Italy	30,611,776	91.29	173,999	93.77
3 インド	India	22,883,399	71.21	107,334	74.15
4 香港	Hong Kong	14,413,983	98.38	104,429	102.96
5 韓国	South Korea	11,463,400	82.42	76,701	91.32
6 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	9,815,910	134.63	61,898	169.70
7 日本	Japan	9,265,038	89.70	43,154	92.75
8 マレーシア	Malaysia	7,114,607	111.84	38,315	100.89
9 アメリカ	United States	5,571,051	89.10	42,063	95.11
10 トルコ	Turkey	3,799,272	73.73	21,575	79.00
11 その他	Others	1,251,674	80.75	166,336	89.02
合計	Total	#####	95.19	943,958	100.01

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 パキスタン	Pakistan	37,579,915	87.54	160,540	105.30
2 イタリア	Italy	21,861,667	86.02	132,320	92.47
3 インド	India	13,476,091	71.82	70,597	80.91
4 香港	Hong Kong	8,900,332	75.26	70,656	82.86
6 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	8,379,856	102.84	57,359	110.65
5 韓国	South Korea	7,563,106	78.44	54,158	84.34
7 日本	Japan	6,864,134	87.59	34,524	95.93
8 マレーシア	Malaysia	5,024,082	80.93	31,261	95.23
9 トルコ	Turkey	3,621,335	113.87	23,372	130.65
10 アメリカ	United States	3,586,551	76.99	30,612	88.80
11 その他	Others	20,074,184	78.54	121,487	90.31
合計	Total	136,931,253	83.41	786,885	93.69

資料:中国税関

Source: Customs General Administration in China

資料: 中国税関

Source: Customs General Administration in China

Spot Price of Various Silk Goods

2013年10月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		119.82 ~ 128.92	1,917 ~ 2,063
2	玉繭(double cocoon)		91.72 ~ 99.98	1,468 ~ 1,600
3	キビソ(frison)	(多条機)multi-ends reel	92.28 ~ 99.68	1,476 ~ 1,595
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	99.16 ~ 106.32	1,587 ~ 1,701
5	ビス(bisu)		71.74 ~ 80.08	1,148 ~ 1,281
6	生糸(raw silk)	21d、工場検査	376.90 ~ 380.52	6,030 ~ 6,088
7	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	378.00 ~ 381.58	6,048 ~ 6,105
8	生糸(raw silk)	42d、工場検査	369.60 ~ 372.40	5,914 ~ 5,958
9	玉糸(doupion silk)	110d	307.28 ~ 314.92	4,916 ~ 5,039
10	土糸(native silk)	110d	294.56 ~ 303.28	4,713 ~ 4,852
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	32.54 ~ 34.30	521 ~ 549
12	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	26.63 ~ 28.78	426 ~ 460
13	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	45.30 ~ 48.10	725 ~ 770
14	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	50.83 ~ 52.98	813 ~ 848
15	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	44.05 ~ 45.90	705 ~ 734
16	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	38.10 ~ 39.95	610 ~ 639

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

注:1元=16円

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

Remarks:Rate 1Yuan=16Yen

2013年11月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		120.50 ~ 127.45	1,928 ~ 2,039
2	玉繭(double cocoon)		90.40 ~ 97.75	1,446 ~ 1,564
3	キビソ(frison)	(多条機)multi-ends reel	87.03 ~ 95.83	1,392 ~ 1,533
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	92.10 ~ 105.63	1,474 ~ 1,690
5	ビス(bisu)		70.40 ~ 79.45	1,126 ~ 1,271
6	生糸(raw silk)	21d、工場検査	370.45 ~ 374.30	5,927 ~ 5,989
7	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	372.20 ~ 375.80	5,955 ~ 6,013
8	生糸(raw silk)	42d、工場検査	366.50 ~ 375.00	5,864 ~ 6,000
9	玉糸(doupion silk)	110d	313.00 ~ 322.28	5,008 ~ 5,156
10	土糸(native silk)	110d	304.58 ~ 312.08	4,873 ~ 4,993
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	32.10 ~ 34.10	514 ~ 546
12	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	26.72 ~ 28.78	428 ~ 461
13	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	45.25 ~ 48.13	724 ~ 770
14	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	50.50 ~ 52.63	808 ~ 842
15	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	43.57 ~ 45.44	697 ~ 727
16	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	36.91 ~ 39.10	591 ~ 626

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

注:1元=16円

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

(7) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率

Total Wage Bill of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	賃金総額 (億元) Total Wage Bill (100million yuan)				対前年増減率 (%) Indices (preceding year=100)			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1997年	9,602.4	7,323.9	1,283.9	994.5	3.8	6.2	1.1	24.0
1998年	9,540.2	6,934.6	1,054.9	1,550.7	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 17.8	55.9
1999年	10,155.9	7,289.9	995.8	1,870.1	6.5	5.1	▲ 5.6	20.6
2000年	10,954.7	7,744.9	950.7	2,259.1	7.9	6.2	▲ 4.5	20.8
2001年	12,205.4	8,515.2	898.5	2,791.7	11.4	9.9	▲ 5.5	23.6
2002年	13,638.1	9,138.0	863.9	3,636.2	11.7	7.3	▲ 3.9	30.3
2003年	15,329.6	9,911.9	867.1	4,550.6	12.4	8.5	0.4	25.1
2004年	17,615.0	11,038.2	876.2	5,700.6	14.9	11.4	1.0	25.3
2005年	20,627.1	12,291.7	906.4	7,429.0	17.1	11.4	3.4	30.3
2006年	24,262.3	13,920.6	983.8	9,357.9	17.6	13.3	8.5	26.0
2007年	29,471.5	16,689.1	1,108.1	11,674.3	21.5	19.9	12.6	24.8
2008年	35,289.5	19,487.9	1,203.2	14,598.4	19.7	16.8	8.6	25.0
2009年	40,288.2	21,862.7	1,273.3	17,152.1	14.2	12.2	5.8	17.5
2010年	47,269.9	24,886.4	1,433.7	20,949.7	17.3	13.8	12.6	22.1
2011年	59,954.7	28,954.8	1,737.4	29,262.4	26.8	16.3	21.2	39.7
2012年	70,914.2	32,950.0	1,990.4	35,973.8	18.3	13.8	14.6	22.9

資料：中国統計年鑑 (2013)

Source: China Statistical Yearbook 2013

(8) 中国企業別従業員年間平均賃金及びその対前年増減率

Average Wage of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	年平均賃金 (元) Average Wage (yuan)				対 前 年 増 減 率 (%) Indices (preceding year=100)							
					名 目 賃 金 Average Wage				実 質 賃 金 Average Real Wage			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1997年	6,444	6,679	4,516	9,092	7.8	7.6	4.7	6.7	4.5	4.4	1.6	3.5
1998年	7,446	7,579	5,314	9,241	15.5	13.5	17.7	1.6	16.2	14.2	18.4	2.3
1999年	8,319	8,443	5,758	10,142	11.7	11.4	8.4	9.8	13.2	12.9	9.8	11.2
2000年	9,333	9,441	6,241	11,238	12.2	11.8	8.4	10.8	11.3	10.9	7.5	9.9
2001年	10,834	11,045	6,851	12,437	16.1	17.0	9.8	10.7	15.3	16.2	9.0	9.9
2002年	12,373	12,701	7,636	13,486	14.2	15.0	11.5	8.4	15.4	16.2	12.6	9.5
2003年	13,969	14,358	8,627	14,843	12.9	13.0	13.0	10.1	11.9	12.0	12.0	9.1
2004年	15,920	16,445	9,723	16,519	14.0	14.5	12.7	11.3	10.3	10.9	9.1	7.7
2005年	18,200	18,978	11,176	18,362	14.3	15.4	14.9	11.2	12.5	13.6	13.1	9.4
2006年	20,856	21,706	12,866	21,004	14.6	14.4	15.1	14.4	12.9	12.7	13.4	12.7
2007年	24,721	26,100	15,444	24,271	18.5	20.2	20.0	15.6	13.4	15.0	14.8	10.6
2008年	28,898	30,287	18,103	28,552	16.9	16.0	17.2	17.6	10.7	9.8	11.0	11.4
2009年	32,244	34,130	20,607	31,350	11.6	12.7	13.8	9.8	12.6	13.7	14.8	10.8
2010年	36,539	38,359	24,010	35,801	13.3	12.4	16.5	14.2	9.8	8.9	12.9	10.7
2011年	41,799	43,483	28,791	41,323	14.4	13.4	19.9	15.4	8.6	7.7	13.9	9.6
2012年	46,769	48,357	33,784	46,360	11.9	11.2	17.3	12.2	9.0	8.3	14.2	9.3

中国統計年鑑2013 Source: China Statistical Yearbook 2013

(9)中国産業別従業員年平均賃金の推移

Average Wage of Employed Persons in Urban Units by Sector

(単位:元)(yuan)

産業別 Sector	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
農、林、牧、漁業 Agriculture, Forestry, Fishery	8,207	9,269	10,847	12,560	14,356	16,717	19,469	22,687
採掘業 Mining	20,449	24,125	28,185	34,233	38,038	44,196	52,230	56,946
製造業 Manufacturing	15,934	18,225	21,144	24,404	26,810	30,916	36,665	41,650
電力、ガス、水道業 Production/Distribution of Electricity, Gas and Water	24,750	28,424	33,470	38,515	41,869	47,309	52,723	58,202
建築業 Construction	14,112	16,164	18,482	21,223	24,161	27,529	32,103	36,483
交通、運輸、倉庫、郵便業 Transport, Storage and Post	20,911	24,111	27,903	32,041	35,315	40,466	47,078	53,391
情報通信コンピューターサービス Information Transmission, Computer Service and Software	38,799	43,435	47,700	54,906	58,154	64,436	70,918	80,510
卸売、小売業 Wholesale and Retail Trades	15,256	17,796	21,074	25,818	29,139	33,635	40,654	46,340
ホテル、飲食業 Hotels and Catering Services	13,876	15,236	17,046	19,321	20,860	23,382	27,486	31,267
金融業 Financial Intermediation	29,229	35,495	44,011	53,897	60,398	70,146	81,109	89,743
不動産業 Real Estate	20,253	22,238	26,085	30,118	32,242	35,870	42,837	46,764
賃貸、リース業 Leasing and Business Services	21,233	24,510	27,807	32,915	35,494	39,566	46,976	53,162
科学研究、技術サービス業 Scientific Research, Technical Services	27,155	31,644	38,432	45,512	50,143	56,376	64,252	69,254
水利、環境管理業 Manage of Water Conservancy, Environment and Public Services	14,322	15,630	18,383	21,103	23,159	25,544	28,868	32,343
家庭サービス業 Services to Households and Other Services	15,747	18,030	20,370	22,858	25,172	28,206	33,169	35,135
教育 Education	18,259	20,918	25,908	29,831	34,543	38,968	43,194	47,734
衛生、社会保障、社会福祉業 Health, Social Securities and Entertainment	20,808	23,590	27,892	32,185	35,662	40,232	46,206	52,564
文化、スポーツ、娯楽業 Culture, Sports and Entertainment	22,670	25,847	30,430	34,158	37,755	41,428	47,878	53,558
公共機関、社会団体 Public Management and Social Organization	20,234	22,546	27,731	32,296	35,326	38,242	42,062	46,074
合 計 Total	18,200	20,856	24,721	28,898	32,244	36,539	41,799	46,769

(出所)中国統計年鑑2013

Source: China Statistical Yearbook 2013

上記を円(Yen)換算

産業別 Sector	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
製造業 Manufacture	212,560	273,375	317,160	366,060	375,340	401,908	476,645	541,450
合 計 Total	242,788	312,840	370,815	433,470	451,416	475,007	543,387	607,997
年別人民元yuan／円yenレート	13.34	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00	13.00	13.00

(10) 中国省別従業員年平均賃金(2012年)

Average Wage of Employed Persons Urban Units by Region

省（区）別 Region			年平均賃金(単位: 元)(yuan)	円換算(円) (yen)	対全国平均比(%) Indices(average=100)
北	京	Beijing	84,742	1,101,646	181.19
天	津	Tianjin	61,514	799,682	131.53
河	北	Hebei	38,658	502,554	82.66
山	西	Shanxi	44,236	575,068	94.58
内	蒙	Inner Mongolia	46,557	605,241	99.55
遼	寧	Liaoning	41,858	544,154	89.50
吉	林	Jilin	38,407	499,291	82.12
黒	龍	Heilongjiang	36,406	473,278	77.84
上	海	Shanghai	78,673	1,022,749	168.22
江	蘇	Jiangsu	50,639	658,307	108.27
浙	江	Zhejiang	50,197	652,561	107.33
安	徽	Anhui	44,601	579,813	95.36
福	建	Fujian	44,525	578,825	95.20
江	西	Jiangxi	38,512	500,656	0.04
山	東	Shandong	41,904	544,752	89.60
河	南	Henan	37,338	485,394	79.83
湖	北	Hubei	39,846	517,998	85.20
湖	南	Hunan	38,971	506,623	83.33
広	東	Guangdong	50,278	653,614	107.50
広	西	Guangxi	36,386	473,018	77.80
海	南	Hainan	39,485	513,305	84.43
重	慶	Chongqing	44,498	578,474	95.14
四	川	Sichuan	42,339	550,407	90.53
貴	州	Guizhou	41,156	535,028	88.00
雲	南	Yunnan	37,629	489,177	80.46
西	蔵	Tibet	51,705	672,165	110.55
陝	西	Shaanxi	43,073	559,949	92.10
甘	肅	Gansu	37,679	489,827	80.56
青	海	Qinghai	46,483	604,279	99.39
寧	夏	Ningxia	47,436	616,668	101.43
新	疆	Xinjiang	44,576	579,488	95.31
全国平均		Average	46,769	607,997	100.00

(出所) 中国統計年鑑2013 Source: China Statistical Yearbook 2013

(注) 1元=13円 Note: 1yuan=13yen

(11)ブラジルの繭・生糸生産数量の推移
Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)
1991/92	17,586
1992/93	19,134
1993/94	18,260
1994/95	16,260
1995/96	15,368 (95%)
1996/97	14,811 (96%)
1997/98	14,594 (99%)
1998/99	10,305 (71%)
1999/2000	8,473 (82%)
2000/01	9,916 (117%)
2001/02	10,238 (103%)
2002/03	9,966 (97%)
2003/04	8,005 (80%)
2004/05	7,146 (89%)
2005/06	8,051 (113%)
2006/07	8,617 (107%)
2007/08	6,266 (73%)
2008/09	4,835 (77%)
2009/10	4,439 (92%)
2010/11	3,037 (68%)
2011/12	2,620 (86%)
2012/2013 [見込み] [Estimate]	2,590 (93%)

暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1991	2,077,155	34,619
1992	2,296,053	38,268
1993	2,325,809	38,763
1994	2,535,440	42,257
1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008	1,176,885 (97%)	19,615
2009	811,020 (69%)	13,517
2010	769,903 (95%)	12,832
2011	557,633 (72%)	9,294
2012	439,504 (79%)	7,325
2013 [見込み] [Estimate]	438,114 (99%)	7,302

資料:ブラタク製糸株式会社

注:()内は対前年比

[]内の見込みは2013年9月現在

Source: Fiação de Seda Brtác S.A

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of September 2013.

(12)ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移

Raw Silk and Thrown Silk Yarns Exportation

区 分		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
		kg %	kg %	kg %	kg %	kg %
日本	Japan	442,264 44%	296,578 34%	294,346 38%	249,069 49%	136,110 32%
ベトナム	Vietnam	243,950 25%	308,464 36%	217,347 28%	118,034 23%	82,959 19%
フランス	France	101,391 10%	74,747 9%	53,441 7%	87,886 17%	180,368 42%
イタリア	Italy	83,032 8%	68,418 8%	143,159 19%	42,913 9%	26,951 6%
韓国	South Korea	43,844 4%	25,259 3%	27,916 4%	0	302 0%
トルコ	Turkey	21,370 2%	16,165 2%	21,131 3%	3,660 1%	0
ドイツ	Germany	6,095 1%		3,742 0%	4,940 1%	5,417 1%
インド	India	38,072 4%	73,181 8%	3,600 0%	0	0
チュニジア	Tunisia	2,428 0%		2,609 0%	1,205 0%	0
スイス	Switzerland	11,344 1%	758 0%	256 0%	5 0%	12 0%
その他	the others	1,012 0%	3,189 0%	242 0%	117 0%	230 0%
合 計	Total	994,801 100%	866,759 100%	767,789 100%	507,829 100%	432,349 100%

資 料：ブラタク製糸株式会社

Source：Fiação de Seda Brtac S.A

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2014 年 1 月号 NO.34 平成 26 年 1 月 1 日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 5 階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL:<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず